

おおきなせなかに — 夢を乗せ未来に羽ばたく元気なまち

びより

広報だいせん

だいせん日和



2012

vol.162

1



笑う門には福来る

笑顔あふれる1年になりますように。



年頭のあいさつ

新年あけましておめでとうござ
います。平成24年の初春を市
民のみなさまとともにお慶び申し上
げます。

昨年は、人と人との「絆」に勇氣
と希望を与えていただいた一
年でした。3月11日に発生した東日
本大震災では、地震と津波、東京電力
福島第一原子力発電所の事故により
東日本太平洋沿岸各地に未曾有の被
害をもたらしました。大仙市でも震
度5強を観測し激しい揺れに見舞わ
れましたが、幸いにも大きな被害は
ありませんでした。

市では、2日後には被災者の安否
確認相談や募金活動などに取り組み
始めると同時に、被災地の状況を確
認しながら支援物資の輸送を始めま
した。1週間後には被災者の受け入
れを始め、1カ月後には市が遠野市
に設置した「だいせん心援ハウス」や
陸前高田市を拠点とした市民ボラン
ティアの派遣に取り組み、その後も
被災した方々を少しでも元気づける
ため、「大曲の花火」や市内の温泉・
名所への招待事業を実施するなど、
被災地・被災者支援に継続的に取り
組んできました。

こうした支援活動は、多くの市民
のみなさんとともに「オールだいせ
ん」で取り組んできたところであり、

大仙市長 栗林次美

あらためて深く感謝を申し上げます。
被災地の復興はまだ始まったばか
りです。今後も被災地・被災者に寄り
添い、東北の仲間として息の長い支
援を続けてまいりますので、引き続
きご支援・ご協力をいただきますよ
うお願いします。

また、昨年は震災のほかにも年
明けの豪雪、6月の豪雨など
大きな災害に見舞われた一年でし
た。市では、平成19年に策定した地域
防災計画の見直し作業に順次着手し、
「空き家等の適正管理に関する条例」
を新たに制定するなど雪対策を強化
しました。また、水害対策については
ポンプの新設・更新により排水能力
を上げるなど、明日起きるかもしれ
ない災害に備えてできることから取
り組んでいます。

加えて、新たに日本海側の津波被
害を想定した後方支援体制を検討す
るなど、より機動的で実効性のある
計画づくりを進めています。さらに、
被災現場でボランティア活動を行っ
た延べ811名のみなさんなど多く
の市民ボランティアの「自助」「共助」
の力をお借りして、自主防災組織の
育成・強化に取り組むなど、災害時の
備えを充実して参りたいと考えてい
ます。

さて、2012年は、地域経済や
雇用の悪化が長引き明るい見
通しがなかなか見えない中で、市民

の生活を守ることを第一に雇用対策
や就労支援の充実を図るとともに、
子育て、教育、地域医療、農業振興な
どの重要施策に積極的に取り組んで
まいります。

特に、仙北組合総合病院の移転改
築については、いよいよこの春から
具体的な作業に入りますので、工事
が進められている大曲駅周辺の道路
整備および区画整理事業と合わせ
て、大仙市の新しい玄関口としてふ
さわしい姿となるよう着実に事業を
進めてまいります。

また、これまでも市民のみなさまと
ともに取り組んできた協働のまちづ
くりについては地域枠予算を拡充す
るなど、「糸」と「半」という文字で
きている「絆」の字のように、市民と行
政からの糸を固く紡ぎながらさらに
力を入れて取り組んでまいります。

終わりにみなさまの今年一年の
ご多幸とご健勝を心からお祈
り申し上げますとともに、被災地・被
災者が東北そして日本全体の支え合
いにより一日も早く元氣を取り戻す
ことをご祈念申し上げます。年頭
のあいさつといたします。

New Year greetings 2012
年頭のあいさつ

辰年の決意

年頭所感



年頭にあたって

明 けましておめでとうございませう。市民のみなさまには、新春の光に希望あふれる新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨 年3月11日の東日本大震災に失った被災地のみなさまの心中を察するとき、これまでの新年とは違う複雑な心境のなか、命の尊さと命を未来へつなぐ重さに思いを寄せ、被災地のみなさまが希望の絆を結ぶ1年となりますことを心からお祈り申し上げます。

また、被災地の復興に向けて大仙市が果たす役割について、市民の意見を伺いながら継続的な支援をさ

先 人の「天災は忘れたころにや

は詳細な調査と検討がなされ災害予防対策が策定されるが、時を経てその教訓が忘れられ、過去の災害を繰り返すことへの警告であると言われる

「安心が人間の最も身近にいる敵である」との歴史上の警句があります。大仙市においても市政の第一に「安全、安心なまちづくり」を掲げており、この大震災の教訓を基に踏み込んだ防災対策を検証する必要がありますと考えるところです。

大仙市議会議長 鎌田 正

と て、昨今の内外を取り巻く情勢は、東日本大震災と原発事故、豪雪や集中豪雨など地球規模で多発する自然災害、さらに過去に例を見ない円高や欧州の金融危機など、社会経済情勢は混沌としており

ます。加えて、T P P交渉への参加表明などにより、今後の地域社会へ大きく影響する課題など、喫緊に対応を要する課題が山積しております。

さらに、国においては地域主権改革の推進が図られ、住民に身近な行政は、地方公共団体が自主的かつ総合的に広く担うようにするとともに、地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むこととされております。これにより、これまで国が行っていた義務付け・枠付けが見直され、地方自治体による政策と法務の立案に加え、自己決定による責務を負うことにもなります。

こ うした中、大仙市議会では、平成21年から議会改革への取り組みについて検討を重ね、昨年10月1日に議員政治倫理条例と議会基本条例を施行したところであります。議決機関として、監視と評価の役割と権能など、与えられた責務を重く受け止め、また市民への説明責任に努め、市民に開かれ、市民の負託に応えるべく、さらなる改革に努める所存です。

また、今年から議会基本条例で定めた市政懇談会を市内各地域で開催

いたします。市民のみなさまとの対話をおして、全議員が市民と問題意識を共有しながら、議会活動の充実と活性化に向け鋭意取り組んでまいりますので、多くのみなさまの参加をお願い申し上げます。

結 びに、厳寒

時節ではあります。桜花爛漫の春がこの先にあることで、この厳しい冬を耐えることができず、困難は希望の卵であるとの言葉を胸に、市民のみなさまのご多幸を祈念いたしまして年頭のあいさつといたします。



栗林市長(写真右)と鎌田議長

雪下ろし中の事故に気を付けて！ 安全な雪下ろしのための

5つのポイント



昨年の豪雪で、市内では雪下ろし中の事故が多数発生。死亡事故5件を含む、痛ましい事故が30件ありました。

市では11月29日、大曲地域職業訓練センターを会場に安全な雪下ろし技術を学ぶ「雪下ろし技能講習会」を開催。講習会の内容から安全に雪下ろしを行うための5つのポイントを紹介します。正しい雪下ろし技術を身に付け、厳しい冬を安全に過ごしましょう。※実技講習会を1月下旬に予定しています。詳しくは次号広報をご覧ください。



講習会では大曲仙北建設技能組合連合会の佐々木正美会長が実技を交えながら、具体的な雪下ろしの方法を紹介

「安全な雪下ろし」 5つのポイント

1 生死を分けるヘルメットの着用

雪下ろし事故の7割を占めるのが「屋根からの転落」。転落時にはヘルメット着用の有無が生死を分けます。

発泡スチロールなどの緩衝剤が入っている「墜落時保護用ヘルメット」を着用し、必ずあごヒモを締めましょう。

2 はしごを使う時は地面に水平に固定しよう

はしごを使う時は、はしごが地面に対して水平になるように固定しましょう。雪に立てかけるとはしごを適正な傾斜（75度程度）にして、上部を屋根から60センチ以上出してください。

3 雪下ろし作業は2人以上で

はしごを支え、転落時に救出できるように作業は2人以上で行いましょう。

雪下ろしを行う前には必ず周囲の人に声をかけ、定期的に安全確認をしてもらいましょう。また、雪に埋まった場合を考え、携帯電話を持参しましょう。

4 軒下は立入禁止

雪の積もった屋根の下は非常に危険です。落雪や、つららの落下には十分注意しましょう。

5 安全帯の着用を

安全帯があれば転落の危険性は低くなります。取り付け方と使い方は取扱店確認ください。

今年も元気に活動スタート 大仙雪まる隊出動式

除雪ボランティア「大仙雪まる隊」(大信田孝文会長)の出動式が12月7日、大曲交流センターで行われ、参加した隊員約70人が今シーズンの安全な活動を誓いました。

雪まる隊は、一人暮らしの高齢者や障がい者世帯などを対象に、住宅周辺の除雪と身守り支援を行うボランティア組織で、昨年度は登録スタッフ1,080人が228カ所で活動。今年度は登録スタッフ1,226人(平成23年12月1日現在)が活動します。

雪まる隊のスタッフを随時募集しています。登録希望の方は大仙市社会福祉協議会までご連絡ください。

【問い合わせ】

大仙市社会福祉協議会ボランティアセンター
☎0187-63-0277



①「事故に気を付け、市民の安心・安全を守るため頑張らしましょう」とあいさつする大信田会長 ②雪まる隊の活動には中学生・高校生も参加 ③出動式の最後に「ガンパロー」を三唱する隊員

今号では「婚活」について、一緒に考えてみましょう
詳しくは12ページから



CONTENTS_ 目次

- 012 **【特集】**
婚活のス・ス・メ
「結婚しやすい社会」を地域で考えよう
- 014 若者は結婚したくないのか？
- 016 行政も「支援」に動き出す
- 018 今どきの婚活事情
- 002 **辰年の決意「年頭所感」**
大仙市長 栗林次美、大仙市議会議員 鎌田 正
- 006 **市の動き**
空き家等の適正管理に関する条例
大仙市議会基本条例施行
平成 24 年度当初予算編成方針
- 008 **市役所からのお知らせ**
提出期限は 1 月 10 日「農業委員会委員選挙人名簿登録申請書」
除雪機械を貸し出します
幸せなマタニティライフ「だいせんたまごのお部屋」
パパパワーアップ講座「パパ's 絵本ライブ」
集落営農などの法人化を支援
就業支援パソコン基礎講習
大曲都市計画変更案の説明会開催
「省エネナビ」を無料貸し出し中 ほか
- 022 **平成 23 年分所得申告**
2 月から始まります 準備はお早めに！
- 028 **健康の達人**
はら眼科/原 宏二 院長
「加齢黄斑変性について」
- 029 **健康通信**
日本脳炎予防接種
いのちの総合相談会 1 月 24 日～ 28 日
ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意
- 031 **いきいき広場**
シリーズ：高齢者夫婦の安心生活
「花子さんと太郎さん、介護保険の認定申請をする」
介護保険事務所からのお知らせ
- 032 **私の主張**
中学生防火防災弁論大会
- 035 **地域情報**
新春将棋大会、花館地区厄払い、新春かるた会
南外・神岡・西仙北の 5 小学校閉校記念式典

大仙の逸品

読者
プレゼント

締め切り日 1 月 31 日 (消印有効)

— お便り送って商品ゲット —

世界中のワインコレクターにも大人気「窓ボトルシリーズ」と呼ばれるこの時期限定ドイツの白ワイン

アルス・ヴィティス



ワインボトルに浮かび上がる産地であるモーゼル河の風景画。毎年異なる絵柄が楽しめ、「窓ボトルシリーズ」としてコレクターに大人気。ボトルの一部が透明になっていて、裏側に描かれた風景画がワインを通してみることができる

ワインの魅力伝える「ワインテラスかめや」から、冬季限定のドイツ・モーゼル産のワイン「アルス・ヴィティス」(750ml、税込み1,890円)を 3 人の方にプレゼントします。

ワインボトルに浮かび上がるモーゼル河の風景画。毎年絵柄が異なり、世界中のワインコレクターの間でも大変な人気。良質なリースリング種を原料として醸造された伝統的なドイツ・モーゼル地方産の白ワインで、ほんのり甘くて飲みやすい、この時期にしか手に入らない貴重な逸品です。

フランス公認の資格「コンセイエ」。フランス語で「助言する人」を意味するワイン選びのエキスパートの資格を県内で初めて取得した亀谷行子さん。ワインを販売するだけでなく、ワインの楽しみ方やうんちくなど幸せ感をプラスするのが私の務めと話します。店内には約3,000本、500種類以上のワインが並び、「自分に合った一本選びに協力します」と優しく話してくれます。

【問い合わせ】ワインテラスかめや ☎0187-75-1124

刈和野 365 (旧国道 13 号羽州街道沿い)

応募方法

発行号、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号と必ず広報紙の感想などを記入の上、プレゼント係までお送りください。応募対象は 20 歳以上で、応募者多数の場合は抽選を行います。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

あて先

〒014-8601 (住所不要) だいせん日和プレゼント係

ファクス / 0187-63-1119

Eメール / kouhou@city.daisen.akita.jp

※Eメールの場合は件名に「読者プレゼント」と記入ください。

Against vacant

1

大仙市空き家等の適正管理に関する条例

危険な空き家への対策や手続きを体系化

安全・安心な暮らしのために



昨年の豪雪で問題となった、積雪により危険な状態の空き家

1,177 戸。この数字は、市が昨年10月から11月に市内全508自治会を対象に行ったアンケート調査による、市内の空き家の戸数です。

近年、高齢化や遠隔地への居住、または経済的事情などの理由で空き家が増加。管理不全な状態（老朽化・自然災害により倒壊する恐れがある状態、建築材等の飛散による危険な状態など）の場合、近隣住民の生活に不安や危険を及ぼす可能性が高まっています。事実、家屋の一部破損による飛散、倒壊の心配など、空き家関連の相談が増えています。

また、昨年度の豪雪により、空き家が積雪で倒壊する危険性が増大。83件の相談が寄せられ、緊急性が高いと判断したケースでは雪下ろしを行いました。

安全な暮らしを守るため、条例を制定

危険な状態の空き家等の問題を解決し、近隣住民の安全・安心な生活を守る

ため、市では「大仙市空き家等の適正管理に関する条例」を制定しました。

条例では、「常に無人の建物や工作物、敷地」を「空き家等」と定義。空き家等が危険な状態（命や財産に害を及ぼす恐れがある状態）の場合、市民が市長に対して情報提供できるようにしています。

市民からの情報があった場合、市では条例に基づき空き家の実態調査を実施。危険性が高い場合は所有者に雪下ろしや建物の撤去・解体の助言・指導、催告などを行います。さらに、催告や命令に応じない場合は、所有者名などを公表し、解体については、行政代執行（命令に従わない場合、市が命令の内容を実行すること）も可能としています。

所有者としての責任をもつてほしい

空き家は、あくまでも所有者の財産。空き家があるということだけで問題にすることはできません。この条例では、空き家の管理不全な状態により、近隣住民等が不安を感じたり迷惑を受けたりすることを問題としています。

この問題を根本的に解決するためには、しばらく家を空けることになった場合でも「何かあったらここへ連絡してください」などと言合える、普段からの地域のコミュニケーションが大切ではないでしょうか。

空き家等の情報をまとめた「地図システム」を作製

空き家の情報を地域と共有することで、倒壊など建物の危険性が高まった場合に市が迅速に対応できるよう、空き家等の情報をまとめた地図システムの作製を進めています。（年度内に完成の予定）

作製にあたっては、昨秋のアンケート結果をもとに職員が現場に出向き、倒壊の危険性や近隣家屋・道路との距離、管理者の有無などを調査。作製した地図は、各自治会や民生委員、地元消防団、自主防災組織などに配布し、普段の生活や見回り活動などで活用していただく予定です。



年々進む高齢化や少子化により、今後さらに管理不全な空き家が増えていくことが心配されます。しかし、この条例により、所有している空き家の様子を定期的に見る、自分で管理できない場合は業者等に依頼するなど、所有者としての責任を果たすことを心掛けてくれる方が増えることを願っています。

【問い合わせ】

総合防災課

☎0187(63)1111 内線286

Parliamentary Reform

大仙市議会基本条例施行

市民が開かれ、市民が参加できる
市議会の改革を目指して

市 民が開かれ、市民が参加できる市議会を目指す。大仙市議会では、情報公開の徹底と市民参加を基本とし、議会・議員活動の活性化と充実を図るため、必要な議会運営の基本事項を定めた「大仙市議会基本条例」を10月1日に施行しました。

条例制定にあたり、市議会では平成22年12月に同条例特別委員会（藤井春雄委員長）を設置。16回にわたる委員会での調査・検討を重ねたほか、条例素案への市民からの意見募集と住民説明会などを実施。その後、9月に行われた第3回定例会で全会一致で可決され、公布・施行されました。

「市民が安心して生活できる豊かな大仙市のまちづくりの実現」が最大の目的。この目的を果たすため、議会が市民の代表機関であることを常に自覚し、市民への説明責任と情報公開を徹底。市民に分かりやすい議会運営と議会改革に努めます。

議会運営の主な改正点・新たな導入点

- ▶ **すべての会議を原則公開**
市議会のほか各常任委員会などにも傍聴席を設け、原則公開する
 - ▶ **市民との市政懇談会**
全議員が各地域に出向き年1回以上開催。市民との意見交換の機会を設ける
 - ▶ **一問一答方式の導入**
議員と市当局が交代で演壇に立ち一括質問・一括答弁する従来のスタイルを改め、質問する議員が市当局と対面し一問一答で議論する
- ※このほか、重要計画などの議決、政務調査費の用途等の公開などを規定



一般質問で導入した対面しての「一問一答式」
傍聴した市民からは「質問と答弁が結び付いているので分かりやすい」と好評

Original budget

大仙市平成24年度当初予算編成方針

社会情勢や市民ニーズを的確に把握し
創意工夫のある予算編成を

市 の1年間の収入・支出の計画であり「まちづくりの設計図」である予算。市では現在、平成24年度予算の編成作業を行っています。

編成にあたり、市の厳しい財政状況を職員一人一人が再認識。限られた財源で最大の事業効果を発揮するため、「選択と集中」による財源確保の徹底を前提として、既存事業等の見直しを実施。それにより生み出された財源で新たな経済対策予算を確保するなど、各部署の創意工夫を最大限に発揮させた予算を目指しています。

また、▼地域経済や雇用情勢等を的確に踏まえた予算 ▼子育て・教育・地域医療・農業振興などの重点施策の推進 ▼災害に強い地域づくりの推進 ▼などのポイントを掲げ、市民サービスの向上や市が直面する課題への迅速な対応を図りながら、効率的な財政運営となるよう努めています。



1年間の予算・事業が書かれている予算書。(写真は23年度のもの)
予算書は、市民の要望や市のあるべき姿を実現するための「道しるべ」といえる。

予算は、市が1年間に使うお金の「単なる目安」ではありません。各部署や各課は、市民の要望や意見、アイデア等をまとめ、検討しながら編成。優先順位や効果、財政状況など多角的に検討協議（予算査定）されて「予算案」となります。そして、予算案は市議会でも審議され、承認されると初めて予算が決まります。

市の未来予想を描いた「まちづくりの設計図」。詳細は、5月に発行する「平成24年度予算特別号」でお知らせします。



農業委員会委員選挙人名簿登載申請書
提出期限は1月10日(火)

【問い合わせ・提出】

大仙市農業委員会事務局
 ☎ 0187-72-4611

市

の農業委員の選挙権がある方には、毎年1

月1日現在で「農業委員会委員選挙人名簿登載申請書」の提出をお願いしています。

「登載申請書」は各農家世帯に郵送しています。内容を確認の上、同封の返信用封筒でお送りください。

なお、「登載申請書」の提出がない場合は、選挙権を行使できない場合があります。申請期限までに必ず提出するようにお願いします。

※資格要件に該当する方で申請書が届いていない場合は、農業委員会事務局、または各分室に連絡ください。

◆**提出方法**／通知に同封している返信用封筒で郵送(直接、窓口での提出可)

◆**提出先**／大仙市農業委員会事務局、各分室

◆**提出期限**／1月10日(火)

※必着



資格要件(選挙権のある方)

市内に住所がある満20歳以上の方(平成4年4月1日以前に生まれた方)で、次の①から③のいずれかに該当する方

- ①10アール以上の農地で耕作作業を営んでいる方
- ②1年間におおむね60日以上耕作に従事している①の同居親族、または配偶者
- ③1年間におおむね60日以上耕作に従事していて、10アール以上の耕作をする農業生産法人の組合員、社員、または株主の方



プレパパ・ママを応援
だいせんたまごのお部屋

- ◆**対象**／妊婦さんとパートナーの方(妊婦さんのみ可)
- ◆**日時**／2月2日(木)
午後1時30分～3時30分
- ◆**会場**／大曲保健センター
- ◆**参加費**／1組500円
- ◆**定員**／先着15組
- ◆**申込期限**／1月20日(金)

マ

タニティ期は家族の未来を考える大切な時間。今まで以上にパパとママが仲良く幸せなマタニティライフを送るためのきっかけを作りませんか。

◆**内容**／

- 【パパ】ママのために低カロリースイーツを作ろう
- 【ママ】世界に一つだけのスタイ(前かけ)を作ろう
- 【パパ・ママ】カフェタイム

※専門スタッフによる「マタニティ期の悩み相談」も行います。

【問い合わせ・申し込み】

男女共同参画・交流推進課
 ☎ 0187(63)1111
 内線297
 健康増進センター中央
 ☎ 0187(62)1015



ボランティア活動に利用ください
除雪機械を貸し出します

除

雪のボランティア活動をされる自治会や町内会、ボランティア団体に除雪機械を貸し出します。利用を希望する場合は、必ず事前に問い合わせください。

◆**貸し出し条件**／

- 次の①、②を満たすこと
- ①高齢者世帯や障がい者世帯など、自力で除雪することが困難な世帯の除雪ボランティア活動に使用すること
- ②ボランティア保険に加入すること(1人280円/年)

◆**機械の種類**／

- 小型除雪機械**
(除雪幅80cm、全長170cm)
- 中型除雪機械**
(除雪幅90cm、全長190cm)

※本庁、各支所に各1台ずつ配備

◆**貸出期間**／1月4日(水)から3月31日(土)まで

◆**貸出時間**／

午前8時30分～午後5時
 ※貸出日当日に返却ください。

【問い合わせ・申し込み】

社会福祉課
 ☎ 0187(63)1111
 内線167
 各支所市民サービス課



パパパワーアップ講座第4弾!
パパ's 絵本ライブ

【問い合わせ・申し込み】

男女共同参画・交流推進課

☎0187-63-1111 内線 295・297

全

全国各地でパパ支援を
展開している安藤哲
也さんのトークとパパなら
ではの魅力を生かした絵本
ライブ(読み聞かせ)で、子育
てを楽しむ秘訣を見つけて
みませんか。

家族の時間を楽しみたい
みなさん、ぜひお越しくだ
さい。

◆**対象**／子育て中の家族、
子育てを応援したい方

◆**日時**／1月21日(土)
午前9時30分～正午

◆**会場**／大曲南幼稚園

◆**講師**／NPO法人フアザ
ーリング・ジャパン代表
理事 安藤哲也さん

◆**内容**／

【**子ども向け**】
絵本作り、大曲南幼稚園
パパーズによる出し物

【**親向け**】
「パパであることを楽し
む秘訣」などのトーク

【**親子向け**】
ライブ感を楽しもう

「パパ's 絵本ライブ」

◆**申込期限**／1月17日(火)



昨年も行われたパパ's絵本ライブ
子どももパパもママも笑顔
いっぱい 楽しい時間を
過ごしました



講師の
安藤さん

第24回 the 24th Daisen City Omagari New Comer Music Festival Contest
大仙市大曲新人音楽祭コンクール

とわ さら とき おと
永遠に煌めけ この刻、君の音

予選 **1/14日**

声楽部門

正午～
大曲市民会館・大ホール

弦・管・打楽器部門

正午～
大曲市民会館・小ホール

ピアノ部門

午後2時30分～
大曲市民会館・大ホール

本選 **1/15日**

全部門

午後0時30分～
大曲市民会館・大ホール

特別出演

第23回コンクール
グランプリ
〈声楽〉星由佳子さん

【問い合わせ】

大曲市民会館 ☎0187-63-8766 (月曜休館)



名作品をドンパルで上映
優秀映画鑑賞会

1日2作品を上映し
ます。1日2本を鑑賞
できる1日券とすべ
ての作品を鑑賞でき
る2日券を販売しま
す。

1/28日

エノケンの頑張り戦術

午後1時30分～

ジャンケン娘

午後3時5分～

1/29日

大学の若大将

午後1時30分～

君も出世ができる

午後3時15分～

あのときの感動がよみがえる
懐かしの名作映画

中仙市民会館(ドンパル)

※両日も午後1時開場

全席自由

【1日券】500円

【2日券】700円

【問い合わせ・入場券販売】

中仙市民会館(ドンパル) ☎0187-56-7200



集落営農などの法人化を支援

農林水産省では、農業者戸別所得補償制度の一つとして、法人化した集落営農などに40万円(定額)を助成します。

◆対象/次の①から④まですべてを満たす法人

- ①平成23年4月1日から24年3月10日までの間に法人設立登記を行うこと
- ②農業者戸別所得補償制度に加入していること
- ③構成員が複数戸であること
- ④原則として、集落等を単位として設立された法人であること

◆申請方法/農林振興課と各支所農林建設課に用意してある申請書に、①法人設立登記事項証明書②定款の写し③構成員名簿―を添付し提出

◆申請期限/3月12日(月)

【問い合わせ・申請】
 農林振興課 内線245
 各支所農林建設課

飼い犬は「生涯一度の登録」と「毎年1回の狂犬病予防注射」



生後91日以上以上の犬は、狂犬病予防法により「生涯一度の登録」と「毎年1回の狂犬病予防注射」が義務づけられています。忘れずに手続きしましょう。

◆手数料/

【登録手数料】3000円

【予防注射接種料】2520円

【注射済票交付手数料】550円

“こんな場合も届け出を”

- 犬が死亡したとき
- 飼い主、または犬の住所が変わったとき
- 飼い主が変わったとき

【問い合わせ・申請】

環境交通安全課
 内線277
 各支所市民サービス課

就業支援 パソコン基礎講習会

再就職や就業を支援するため、パソコン講習会を行います。2日間の日程でエクセルの操作を学びます。

◆対象/現在、再就職や就業を希望している方、またはエクセルの操作を学びたい方

◆期日/

- ①1月26日(木)、27日(金)
- ②2月8日(水)、9日(木)
- ③2月28日(火)、29日(水)
- ④3月13日(火)、14日(水)
- ⑤3月27日(火)、28日(水)

◆会場/大曲庁舎

◆定員/各先着12人

◆受講料/500円

◆申し込み期間/1月4日(水)から各講習会の前日まで

【問い合わせ・申し込み】

情報システム課
 内線385

太田公民館 パソコン講習会

パソコン初心者やスキルアップを目指す方を対象にした講習会。ワードでの文書作成やエクセルを使ったデータ整理と活用方法を講師が分かりやすく教えます。

【ワード2010

文書の基本編】

文字入力の基本からスタート。イラストや飾り文字を使った文書作成の基本を学びます。

期日/1月17日(火)、20日(金)、24日(火)、27日(金)

時間/午後7時~9時

【エクセル2010入門編】

初歩的な使い方からスタート。「おこづかい帳」を作りながら、連続データや数式の入力、表作成、集計の基本を学びます。

期日/1月29日(日)、2月5日(日)

時間/午後1時~5時

【問い合わせ・申し込み】

太田公民館
 ☎0187(88)1119



【エクセル2010活用編】

住所録を作りながら、データの整理や活用方法を身に付けます。

期日/2月7日(火)、10日(金)、14日(火)、17日(金)

時間/午後7時~9時

◆対象/市内在住、または市内在勤の18歳以上の方

◆会場/太田公民館

◆定員/各先着10人

◆参加費/700円(資料代)

◆申込期限/ワード編/1月5日(木) エクセル編/1月16日(月)

- 大曲庁舎 (本庁) ☎0187-63-1111
 大曲南庁舎 ☎0187-66-4905
 土地区画整理事務所 ☎0187-63-0542
 神岡庁舎 ☎0187-72-2111
 西仙北庁舎 ☎0187-75-1111
 中仙庁舎 ☎0187-56-2111
 協和庁舎 ☎018-892-2111
 南外庁舎 ☎0187-74-2111
 仙北庁舎 ☎0187-63-3003
 太田庁舎 ☎0187-88-1111

大仙市ホームページ
www.city.daisen.akita.jp

information

1月は国民健康保険税7期、後期高齢者保険料7期の納付月です。忘れずに納期内の完納をお願いします。

毎月第2・第4木曜日は子育てママの就職相談
 時間/午後1時~4時
 会場/女性センター
 ※無料の託児サービスあり
 申し込み・問い合わせは女性センターまで
 ☎0187-62-1713

大曲都市計画変更案 説明会を開催します

大曲通町地区第一種市街地再開発事業の事業進捗と仙北ふれあい公園の事業完了に伴う、都市計画変更案の説明会を開催します。

◆説明会の内容／

①都市計画市街地再開発事業の変更

②都市計画公園の変更

◆日時／1月11日(水)

午後6時～

◆会場／大曲交流センター

【問い合わせ】

都市管理課

☎0187(66)4908

交通規制に ご協力ください 大仙市消防出初式

消防出初式の開催にあたり、全市の消防団員が大曲市民会館前で行進します。

当日は大曲市民会館周辺の道路が一時通行止めとなりますので、ご協力をお願いします。

◆日時／1月5日(木)

午後1時～2時

【問い合わせ】

総合防災課 内線287

取り壊した建物が ある方は届け出を

建物や土地などの固定資産税は、1月1日現在の所有者に課税されます。

平成23年1月2日から24年1月1日までの間に取り壊した建物がある場合は、税務課または各支所市民サービス課に届け出ください。

【問い合わせ・届け出】

税務課 内線109・110
各支所市民サービス課

初心者囲碁サロン

囲碁を始めてみたいという方は、どなたでも気軽に挑戦してください。※申し込み不要

◆日時／毎週金曜日の午後6時～9時

(祝日、年末年始を除く)

◆会場／大曲地域職業訓練センター

◆参加費／1回100円

【問い合わせ】

生涯学習課 内線339



大曲地域の公共下水道 事業整備区域を拡大

市では、大曲地域の公共下水道について一定の区域(認可区域)を5年から7年の期間で順次、整備してきました。

今後は工事の進み具合により、工事予定区域で事業説明会を随時開催する予定です。対象地区(整備予定区域)の方には個別に通知しますので、ぜひ参加ください。

なお、平成24年度以降は次の区域を整備予定区域としています。

◆次期整備予定区域／

富士見町、幸町、大花町、福田町の一部、川目の一部、飯田

【問い合わせ】

下水道課 内線292

WORD▶▶▶ "認可区域"とは?

下水道を整備する予定の区域です。この区域に指定されると近いうちに下水道が整備されるため、合併処理浄化槽の補助を受けることができなくなります。

節電効果を 実感してみませんか 「省エネナビ」を 無料で貸し出し中



電気使用量が一目で分かる「省エネナビ」

冬季の電力不足や地球温暖化に対処するため、家庭でどれだけ電気を使っているのか一目で確認できる「省エネナビ」を無料で貸し出します。家庭での効率的な節電に役立ててください。

1月と2月は、暖房や照明の使用により最も多く電気が使われる時期です。体調管理には十分に注意を払っていただき、無理のない範囲で節電対策に取り組みましょう。

◆対象／市内の一般家庭

◆貸出期間／10日以内

※数に限りがあるため、順番待ちになる場合があります。

【問い合わせ・申し込み】

環境交通安全課
内線277

ス・ス・メ

結婚活動……略して「婚活」
就職するための活動、いわゆる「就活」が一般的なように
結婚相手を探すためには
積極的な「婚活」が求められる時代だと言われます

結婚は、とても個人的な問題ですが
地域の将来を左右する大切な課題でもあります
男女の出会いや結婚への支援など
大仙市では、結婚を地域で支援するしくみ作りを始めました

地域で支える「婚活」
現在の結婚事情から「婚活」のあり方まで
人と人が寄り添い合える大仙市について考えてみましょう



婚活の

こん

かつ





結婚したい
82.0%

▶ 結婚の意欲 (グラフ 2)

早く結婚したい	20.5%
いずれは結婚したい	61.5%
結婚はしたくない	3.8%
特に考えたことがない	13.4%
無回答	0.8%

資料: 秋田県「結婚観等に関する意識調査」

晩婚化そして非婚化
社会は常に変化しています

統計から見る結婚に対する意識
そこから私たちが手伝える
何かが見えてきます

進む晩婚化、非婚化
男性約2割が未婚時代

「生涯独身でいる人がどれくらいいるか」を示す統計指標「生涯未婚率」。国立社会保障・人口問題研究所の「人口統計資料集(2011年)」によると、平成17年の生涯未婚率は男性で16.0%、女性は7.3%と過去最高になりました。各年代の未婚率が上昇していることから、この傾向が続くことが見込まれます。(グラフ1)

若者の結婚への意思
いずれは結婚したい

県が平成21年に県内に居住する18歳以上の独身男女対象に行った「結婚観等に関する意識調査」で「結婚したい」と回答した人は全体で82%の高い割合を示しています(グラフ2)。また、独身でいる理由(複数回答)については、男女とも「結婚したいと思う異性と巡り会わない」が45%を超えて最も高く、男性では2番目が「結婚資金の不足」37%、3番目が「収入が不十分」30%と経済的理由が続きます。女性では「自由や気楽さを失いたくない」32%、「結婚資金の不足」22%と続きます。

出会いの手伝いを
友人や職場に望む

「異性との出会いの機会」については、全体で65%が「少ないと感じている」と回答。職場での従業員男女比率別で出会いについて比較すると、「女性が9割以上の職場」で81%が少なくと回答し、「男性が9割以上の職場」78%、「男女が半数程度」49%という結果になっています。職場の男女比の偏りが大きければ、出会いの機会が少なくと感じられる傾向で、言い換えれば、出会いの場が職場に偏っている傾向にあります。

出会いの機会の必要性については、「お見合い」や「異性の紹介」を受けたいとすると全体で81%。男性が84%、女性が76%で男性が若干高くなっています。

「お見合い」や「異性の紹介」をするのに望ましい人は、男女とも80%以上の人が「友人」と回答し、次に「職場の上司や同僚」と続きます。

男女の出会いを目的とした交流イベントについては、全体で63%が「参加したい」と回答。また、男女とも行政が結婚に関わることに肯定的で、

数字で見る結婚事情

▶ 大仙市の年間
婚姻届け出件数

年	件数
平成18年	368
平成19年	357
平成20年	407
平成21年	360
平成22年	347
平成23年	292

※平成23年は12月19日現在
資料: 大仙市役所

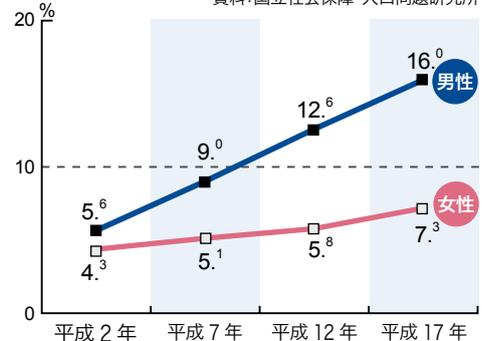
▶ 平成21年県内13市の婚姻率(表1)
(1,000人当たり婚姻件数)

自治体	婚姻数	人口	婚姻率
秋田市	1,536	325,837	4.7
大館市	297	79,165	3.8
鹿角市	122	34,621	3.5
北秋田市	101	37,198	2.7
能代市	218	59,455	3.7
男鹿市	112	33,017	3.4
湯上市	122	34,852	3.5
由利本荘市	332	85,898	3.9
にかほ市	130	28,006	4.6
大仙市	349	89,398	3.9
横手市	396	99,107	4.0
仙北市	111	30,067	3.7
湯沢市	204	52,410	3.9

資料: 秋田県衛生統計年鑑

▶ 生涯未婚率の推移 (グラフ1)

資料: 国立社会保障・人口問題研究所



» 生涯未婚率とは

生涯独身でいる人がどれくらいいるかを示す統計指標「45~49歳」と「50~54歳」の未婚率から「50歳時」の未婚率を算出したもの。生涯を通して未婚である人の割合を示すものではない

若者は結婚したくないのか？

いいえ、82%が「結婚したい」と回答しています

異性との出会いの機会を設けたり、就業機会の拡大、子育て支援などの結婚しやすい環境づくりが、行政をはじめ社会に求められる「婚活」の姿なのかもしれません。

大仙市の結婚事情 女性の未婚者が増加

周りの独身者に聞くと「職場と家の往復」「職場は同性や既婚者ばかり」「異性と知り合う機会がない」「若い頃は異性との飲み会の話もあったが、年齢を重ねるほど誘いが少なくなってきた」「出会いがあっても、結婚したいと思うような出会いがない」などの声が聞こえてきます。多くの独身者が「出会いのチャンスが少ない」と感じているようです。

秋田県の婚姻率は12年連続全国最下位。大仙市の平成21年の婚姻率は3・90で、県内13市で4番目ですが、県平均4・0を下回っています。(表1)

国勢調査の結果では、大仙市の25歳から44歳までの総人口が平成7年から22年で6537人減少している反面、未婚者数は1166人増加しています。特に女性の未婚者が男性の2倍以上の827人に増加しています。

す。(グラフ3)

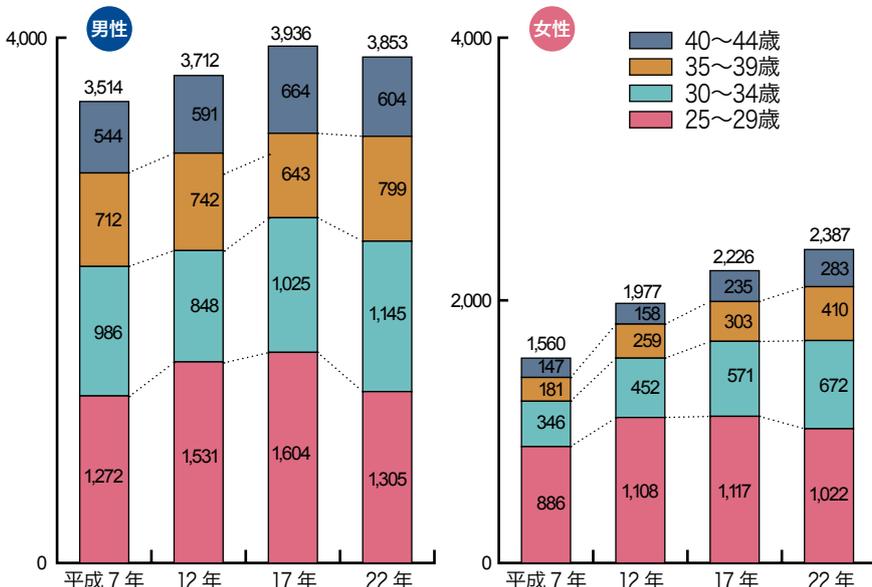
世話人が減り 地域の力にも限界

昔は職場の上司や親戚、近所のおじさんやおばさんが適齢期になれば「そろそろ結婚したら」「いい人を紹介してやろう」と周りが声をかけたものでした。しかし、仲人を立てた結婚式もほぼゼロに近く、男女の出会いを世話する人が減ったことも事実です。そんな地域の力が落ちてきたことも、未婚率の上昇につながっていると分析できます。

自ら「おつせかいやき」と認める佐藤あや子さん(花館下大戸は、20年以上出会いをサポートし続ける一人。農業委員会の結婚相談員などを務め、50組以上の夫婦を誕生させました。「1年に7組の夫婦を誕生させた年もありましたが、今では1組を結ぶのも難儀な時代です。世話人に対する敷居も高くなったような気がします。相手に対する条件も多く、難しい時代になってきました。みんなに幸せになつてもらいたいという気持ちには変わらないのですが、昔のようにはいかない」と状況の難しさを指摘します。

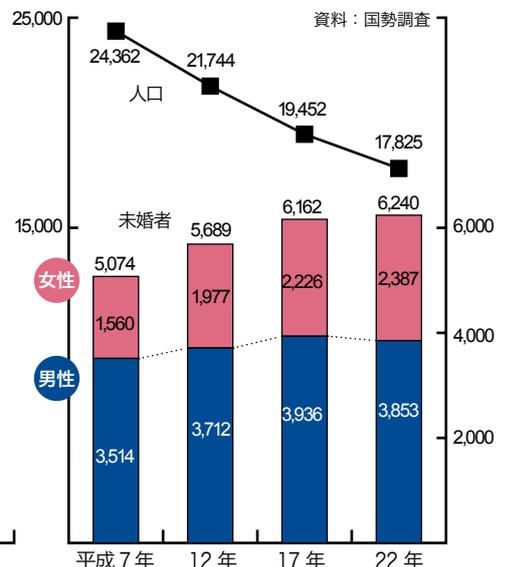
▶大仙市の未婚者数の推移

資料：国勢調査



▶大仙市の25歳～44歳の人口と未婚者数の推移 (グラフ3)

資料：国勢調査



むすび・サポート事業

行政も「支援」に動き出す

婚姻率12年連続で全国最下位の秋田県

「結婚したくても出会いの機会が少ない」と回答する

県内の多くの独身男女の出会いを支援するため

県では「あきた結婚支援センター」を

平成22年に開所しました

行政も積極的に「婚活」に対し支援を行う時代

大仙市でも4月から男女の出会い、結婚を応援する

「むすび・サポート事業」をスタート

県の支援センターと連携しながら事業を進めるほか

公募により「男女の出会い・結婚支援を考える会」を設置

出会いや結婚に関する相談、イベントの企画や開催など

地域における支援活動を推進しています



あきた結婚支援センター 23年リニューアル

結婚を希望する独身男女の出会いを支援するため、平成22年に開所した「あきた結婚支援センター」。地域で独身男女の出会いをお世話するボランティア「結婚サポーター」の養成、出会いイベントを提供する企業・団体「すこやかあきた出会い応援隊」の募集、イベントの企画や開催のアドバイザー、本人はもとより、親、友人からの婚活に関する相談を行っています。また、応援隊などが行うさまざまなイベントの情報メルマガで配信する結婚支援を行っています。

23年4月にはセンターをリニューアルし、出会いイベント情報の提供に加え、新たに会員制によるマッチング（お見合い）事業を開始しました。出会いを希望する独身男女

の方、また彼らの背を押しあげたい方も、ぜひメルマガに登録して、どのようなイベントが行われているかご覧ください。

そして、1対1の出会いをしたい方は、ぜひセンターに問い合わせ、事業内容をお確かめください。

私たちにお気軽にご相談ください。 あなたのまちの結婚サポーター &相談員

氏名	地区	電話番号
伊勢良	角間川	0187-65-3586
岡部文子	大曲住吉町	090-8927-1611
河道操	神宮寺	0187-72-2005
小柳政浩	大曲船場町	090-3476-8930
佐藤あや子	花館	080-2816-4345
菅原高	若竹町	0187-63-3757
高橋章	太田町	0187-88-2754
高橋敏子	北檜岡	0187-72-3822
武藤隆男	下淀川	018-896-2656
渡邊じゅん子	北檜岡	0187-72-2263

大仙市でも開始 むすび・サポート事業

市でも男女の出会いや結婚を応援する「むすび・サポート事業」を23年度4月から開始しました。

県の「あきた結婚支援センター」と連携して活動。公募に

よる「男女の出会い・結婚支援を考える会」を立ち上げ、市民と行政が一緒になって活動しています。

右表の支援センターで研修を受け認定された「結婚サポーター」や相談員、出会いの場を提供する「出会い応援隊」などと連携しながら、地域における支援活動を進めています。

【問い合わせ】

男女共同参画・交流推進課

☎0187(63)1111

内線297

Happy × Happy × Happy ~ハッピーコラボレーション~

あきた結婚支援センター

出会い・結婚支援のしくみ

メルマガ登録

多くの出会いの場(イベント等)情報を提供します。



① 無料のメルマガに登録します。

② 出会いイベント等の情報がメールで届きます。



③ 気に入った出会いイベント等へ参加の申込を行います。



④ イベントに参加します。「スポーツ観戦」「料理体験教室」「なべっこ遠足」など、さまざまなイベントがあります。



カップル成立・交際スタート

会員登録

希望する相手との個別の出会いを調整します。

① 電話予約のうえ本人が直接来所して会員登録を行います。



② センターのパソコンで本人が直接、希望するお相手を検索します。



③ 気に入ったお相手を選択し、マッチング(お見合い)の申込を行います。「結婚コーディネーター」が調整します。



④ センターにおいて、お話し合いをしていただきます。



出会いイベント情報を随時メールであなたの手元に配信するシステムです。

登録に関して、**登録料や年会費等は一切無料**です。

(ただし、通信に要する接続費用は)利用者の負担となります。

メルマガ登録はこちらから

ホームページ

<http://www.sukoyaka-akita.com>



会員の個人情報厳守します

ホームページもご覧ください

<http://www.sukoyaka-akita.com>

あらかじめ登録された会員の中から、あなたの理想とするお相手を、ご自身でパソコン検索システムにより選び、個別にお会いするシステムです。

入会登録料は、**10,000円**

(登録日から3年間有効)です。(入会後、登録料以外の費用は一切かかりません。)くわしくは会員募集パンフレットをご覧ください。

会員登録はこちらから

☎0800-800-0413

de
愛
記念日



メルマガ・会員登録が第1歩

メルマガ/出会いイベントを随時配信
会員/気に入った相手とのマッチング
あなたの出会い 応援します

婚活イベント第1弾

【男性対象】

1/22日

【女性対象】

1/29日

想いをカタチにする イマドキランチ

大仙結婚を支援する会事務局

男女共同参画・交流推進課 ☎ 0187-63-1111 (内線 297)

相手に想いを伝えたい、自分の魅力をUPさせたい、結婚を考えている男女を対象にした料理教室です。

【日時】 男性対象/1月22日(日)午前10時~
女性対象/1月29日(日)午前10時~

【会場】 ペアール大仙

【参加費】 1,000円(保険料含む)

【定員】 各16人

【講師】 有坂和美さん

【申込期限】 男性 1月16日(月)
女性 1月23日(月)





今どきの婚活事情

婚活とイベントとの抱き合わせで地域活性化 数百人規模が出会う 巨大な合同コンパ 街コンが花盛り

午後6時、群馬県高崎市のJR高崎駅西口付近は、ぼつちりとオシャレをきめた20歳以上の男女約1300人でごった返した。それぞれの手首にした白のリストバンドが参加者の目印。その日の高崎の夜は、いつもと雰囲気違った。

10月15日、高崎市の中心市街地で行われた「高崎大合同コンパ」、略して「高コン」は20歳以上の男女が新たな出会いを求める大規模なイベント。参加費は男性6600円、女性3600円。協賛するバーなど33店舗から指定された飲食店3店舗を回る。単なる出会いを求めるだけでなく、飲食や心地よい雰囲気も一緒に楽しむ。それぞれの店舗での持ち時間は1

時間。スタートとともに各店舗で一斉に乾杯の掛け声が響く。最初は互いに緊張していた参加者も、お酒が進むにつれ、次第に会話が弾み和やかな雰囲気になり、電話番号やメールアドレスを交換する姿も。

当初は男女500人ずつ1000人でのイベントを予定していたが、募集開始30分で定員に達し、後日行った300人の追加募集も20分で終了。キャンセル待ちの整理券を求めて行列が出来るほどの人気ぶりだった。

高コンを企画するきっかけは9月に前橋市で行われた「前コン」。その実行委員から「高崎でもやってみないか」と声をかけられ、実行委員会を組織し準備。「人」「まち」の



日本青年館結婚相談所
相談員

板本洋子さん

Profiles

日本青年館協議会事務局員、日本青年館元相談所長を経て、現在、全国地域結婚支援センター代表経済産業省「少子化時代結婚産業のあり方に関する研究会」委員のほか、各種委員を務める全国各地で講演を行うと共に、結婚事情、若者の晩婚化家族形成に関する調査・研究を行う特に農村の結婚問題に取り組み、全国の農業青年に呼びかけ、東京でトラクターによる「嫁来いパレード」を実行。話題を呼ぶ

変化する結婚支援

1960年代「農村の嫁不足対策」「農業後継者確保」の対策として始まった結婚支援。現在は「少子化対策」「人口問題」として取り組まれています。

民間企業はもちろん、NPO団体、農業や若者団体等が特徴を生かした「出会い事業」を実施しています。行政でも事業に取り組んでいて、その数は増加しています。

現在の結婚支援は、結婚することに重きを置いた事業から、地域の活性化に結びつく事業へと変化しています。

例えば長野県松本市のJAでは全国の独身女性を公募。1年間農作業などを体験

結婚の形を柔軟に考えることが重要
2人の多様な生活スタイルを尊重し、
応援していくことが大切

出会い応援セミナー「地域で支える結婚しやすい環境づくり」



10月15日に群馬県高崎市で行われた巨大な合同コンパ「高コン」約1,300人が協賛する33店舗の飲食店を舞台に新たな出会いを楽しんだ「自分も元気に、まちなも元気に」をテーマにした街コン地域活性化の新たなイベントにもなり得る
(写真提供/高崎市)

集って、出会うって、

両方に活力を出すためにはどうすればいいのか、「自分も元気に、まちなも元気に」をテーマに、高崎というまちが持つ力、その可能性への挑戦が始まった。

「参加者が行く3つの店はあらかじめ指定する」「店内の男女比を同じにする」「男性は30分ごとに席を替える」など、参加者が楽しめるルールを作った。「笑顔で店から

見

知らぬ男女が数百人単み歩く巨大な合同コンパ、通称「街コン」が全国各地で開かれ、にぎわっています。

街コンの発祥は平成16年開催の栃木県宇都宮市の「宮コン」とされます。数百から数千人の参加者が、貸し切りの参加店を自由に巡る。飲食店も新規客の開拓が可能です。

男女の出会いの場づくりの一方、開催側は地元の飲食店と連携することで地域活性化を図ることもできます。婚活は結婚に向けた活動だけでなく、

地域も活性化

出てくる参加者を目にして、やって良かったと思つた」と実行委員会メンバー。

参加者も協賛店にも喜んでもらった「高コン」。次回は参加店舗が増えるなど規模を拡大して2月に開催予定。「出会いは自分から積極的に見つけるほうがいい。高コン」がそのきっかけになってくれれば」と実行委員会では第2弾に向けた準備を始める。

く、地域を元気づけることができるのです。

異性との1対1の出会い、マッチングと捉えられがちな婚活ですが、現在は結婚を望む人たちの「きっかけづくり」など、よりソフトに、独身者の興味を引き、参加しやすい形に変化しています。

出会いの場を創出し、参加者がより楽しめ、そしてまちなもにぎわう婚活。それぞれの地域で知恵を出し合い、地域性豊かで魅力的なさまざまな交流イベントが開催されています。

験してもらっています。

農業を楽しむ女性と接することで農業青年が農業に誇りを持つたとか、ファッションに気を使うようになったなど、農業を見直し個人の変化につながったという事例が報告されています。

また、美術館や動物園、飲食街など、地域にすでにあるものと出会いを結びつけた事業では、地域の再発見や地域の活性化に結びついたという報告もあります。

未婚の理由

未婚の理由としては、「出会いの場がない」、非正規雇用拡大や景気低迷による「経済的不安」などが挙げられます。

両親の介護や家の相続に責任を感じ、親の意向を受けて条件に合う相手を探しているケースもあります

が、条件重視、条件に合う人だけ待ってもチャンスは広がりにません。今までの結婚観を変える必要があり、結婚には多様なスタイルがある中で、当事者はもちろん親自身も結婚観を変えなければなりません。

対人関係や他者の気持ちに押し量る力の弱さから、コミュニケーションをとることが不得意だと思つて男性が多くなります。

また、男性は結婚相手探し、女性はこの男性と結婚したらどんな生活、どんな人生になるのかといった、男女の結婚観に違いがあります。

応援のあり方

心ときめく出会いは、いろいろな人との関わりに関心・興味・好奇心を持つことから始まります。条件面だけを重視せず、イベントなどを通じて互いに共感できるものを探る方が出会いが広がります。

結婚には多様なパートナーの形があり、一つの形に当てはめるのではなく、人と人が寄り添って生きていくことを手伝うこと。結婚して子どもを産み育てるだけでなく、その人の人生にあつたカップルライフがあることを示すことが大切です。結婚という価値観の入り口を広げることが、独身男女を地域で支えることにつながります。

12月3日、華燭の宴で永遠の愛を誓い合った草薨和明さん(太田)と坂本昌子さん(中仙)。
友人の紹介で知り合った2人は、2年半の交際を経て結婚。和明さんは昌子さんの「とても真面目なところ」、昌子さんは「やさしくて頼りになるところ」に引かれたと話します。
「どんな夫婦に」という問いには、口をそろえて「笑いがあり面白く楽しい家庭」と話してくれました。
(撮影協力/山の手ホテル)



「結婚しやすい社会」を地域で共に考え、行動できる社会を一緒に築こう

新郎新婦は、晴れのこの日を温かく見守り、励まし、応援している家族や友人、職場など、地域に感謝しながら一つ一つのテーブルを回る。幸せのお裾分け。結婚式の中でもキャンセルサービスは、微笑ましいワンシーンである。

「結婚はとても個人的な問題」であるという前提は変わらない。しかし、人口減少、少子高齢化といった現状を考えると、その要因の一つに婚姻率の低下が挙げられる。未婚率の増加は、大仙市の将来を考える上で無視できないこととなっている。

結婚に関するアンケート結果からは8割を超える独身者が「結婚したい」と回答する一方で、出合いの場の不足や恋愛する時間の不足、非正規雇用拡大や景気の低迷による経済的不安など、未婚率の増加傾向に歯止めがかからない。

仕事や生活様式の多様化などによる価値観の変化と同様に、結婚に対する考え方も大きく変化。また、昔は男女の縁結びに絶対的な力を発揮していた地域の「世話人」、縁談話を持ちかけてくれる人の減少やそれら世話人を敬遠する風潮など、結婚を取り巻く環境は変化している。社会状況が複雑に絡み合い、未婚問題は一筋縄で解決できないものの、「結婚しやすい社会」を地域で共に考え、

行動できる社会を築くことが解決の第一歩だと思う。

「婚活」と聞いて、深刻な結婚難に悩む農村の青年たちが「お嫁において、ぼくのところへ」と書かれたのぼりをはためかせ、トラクターで東京都内をパレードした昭和の終わりのことを思い出す方も多いと思う。

しかし、現在の「婚活」は目的は変わらずとも、人々の価値観の変化に合わせて、その方法も様変わり。地域の特徴や状況に合わせた手法に変わりつつある。

「婚活」が「ほずかしい」とか「かっこ悪い」というふうな後ろ向きに映っていないだろうか。そうだとすれば、そんな意識が少しずつ変わり、「ただいま婚活中、いい人いたら紹介して」と明るく言え、「いい人いるんだ」と紹介できる社会や環境をみんなで作っていく必要がある。

行政も婚活に積極的に関わる時代。大仙市でも「むすび・サポート事業」として、婚活の支援を始めた。地域の共通課題として、みんながサポートし応援する環境づくりが必要だ。

祝い事は地域を明るくし、笑顔を増やす。一人一人の幸せの増加は大仙市の活力にもつながるのだから。

【特集】婚活のス・ス・メ

Shall We コンカツ？

「婚活」しませんか

2月から
始まります

所得申告は大事な税金の手続き。準備はお早めに！ 平成23年分所得申告

2月から所得申告が始まります。混雑を防ぐため、日程を確認し各地域の会場で申告してください。(申告会場は各地域1カ所)

申告が必要な方

昨年の申告状況から、今年、申告する必要があると思われる方には、1月中旬に申告書を送付します。ただし、申告書が送付されない場合でも、新たに事業を始められた方や勤務先を23年中に退職された方などは申告が必要な場合があります。※所得税の確定申告書が税務署から送付される予定の方には、市県民税の申告書を送付しません

申告が必要ない方

- 次の①・②・③に該当する方は申告の必要はありません。
- ① 税務署に所得税の確定申告書を提出する方
 - ② 所得が給与所得のみで、勤務先で年末調整を済ませている方
(医療費控除、寄付金控除、雑損控除等の申告をする方を除く)
 - ③ 被扶養者で所得が全くない方
(市県民税申告書が送付された方を除く)
- ※下チャートで申告の要・不要を確認ください

申告に持参するもの

- ① 印鑑(認め印で可)
- ② 平成23年分の所得を証明できるもの
【給与収入がある方】
源泉徴収票または事業主が発行する給与支払明細書
【事業・農業・不動産所得等がある方】
収支内訳書または帳簿など
※農業所得のある方は全て収支計算(収入から必要経費を引いた額で所得を算出する方法)です。農業収支内訳書か農業収支ノットに記入し、必ず持参ください
- ③ 国民年金、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、生命保険料、地震保険料、寄付金などを支払っている場合はその領収書、または証明書
- ④ 医療費控除の申告をされる方は、医療費の領収書
※23年中に支払った医療費の合計額を申告前に計算しておいてください
- ⑤ 確定申告で所得税の還付申告をする方は、還付金の振込み先の口座等がわかるもの(本人の口座番号に限る)

平成24年度の主な税制改正

- ① 扶養控除の一部廃止
○ 年少扶養親族(16歳未満)の扶養控除(所得税38万円、住民税33万円)の廃止
○ 特定扶養控除(16歳以上23歳未満)のうち、年齢16歳以上19歳未満に対する上乗部分(所得税25万円、住民税12万円)の廃止
- ② 特別障害者加算の組み替え
同居の特別障害者の控除額の加算(所得税35万円、住民税23万円)は、これまで「配偶者・扶養控除への加算」から「障害者控除への加算」に組み替え
- ③ 寄付金控除適用下限の引き下げ
住民税で寄付金控除を適用できる寄付金額が5千円超から2千円超に引き下げ

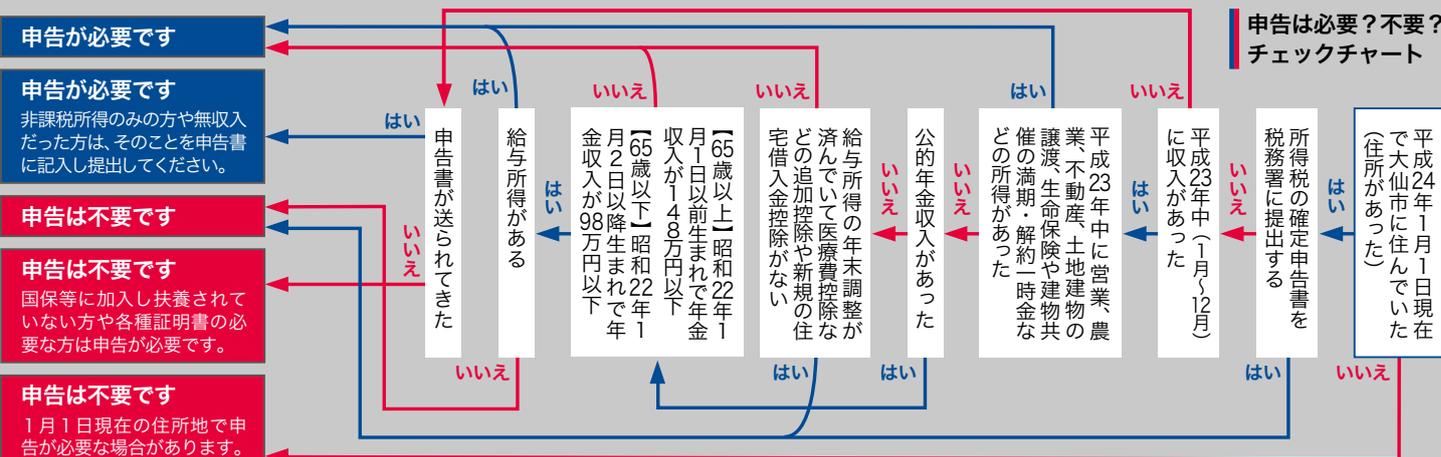
住民税住宅ローン控除について

収入が給与所得のみの方で年末調整が済んでいて、「平成23年分給与所得の源泉徴収票」に「居住開始年月日」「住宅借入金等特別控除可能額」が書かれていれば、特別な手続きは必要ありません。
※それ以外の方は申告書の提出が必要

雑損控除について

震災、風水害、雪害等で住宅や家財などに被害を受けた方や、災害に関連する支出があった方は、その一部が所得から控除できる場合があります。

申告は必要？不要？ チェックチャート



東日本大震災の義援金について

2千円を超える義援金を寄付された場合、所得税と住民税で控除を受けることができます。

また「ふるさと寄付金」として控除額が大きく異なる場合があります。

※所得税と住民税を合わせて最大で「寄付金額から2千円を差し引いた額」まで

生命保険金を年金として受け取っている場合の取り扱い

相続税の計算対象となる部分については、所得税、住民税の所得から除外する取り扱いとなりました。平成12年以降にこのような所得があった場合は、さかのぼって還付金が生じる場合があります。

該当する方は、年金の受取期間、受取額などが記載された書類を確認の上、税務課に問い合わせください。

便利なインターネットでの手続き

市への給与支払報告書、法人住民税申告書、償却資産申告書の提出には、地方税ポータルサイトシステム（e-TAX）が便利です。（詳細は市のホームページの「市民生活便利帳・税金」を参照）

所得税の確定申告には国税電子申告システム（e-tax）が利用できます。詳細は国税庁のホームページ（www.nta.go.jp）をご覧ください。税務署に問い合わせください。

問い合わせ

大曲税務署 0187(62)2191

申告日程

申告相談日 日曜日の申告相談日

		大曲	神岡	西仙北	協和	南外	中仙	仙北	太田
2月	1 水								
	2 木								
	3 金								
	4 土								
	5 日								
	6 月								
	7 火								
	8 水								
	9 木								
	10 金								
	11 土								
	12 日								
	13 月								
	14 火								
	15 水								
	16 木								
	17 金								
	18 土								
	19 日								
	20 月								
	21 火								
	22 水								
	23 木								
	24 金								
	25 土								
	26 日								
	27 月								
	28 火								
	29 水								
3月	1 木								
	2 金								
	3 土								
	4 日								
	5 月								
	6 火								
	7 水								
	8 木								
	9 金								
	10 土								
	11 日								
	12 月								
	13 火								
	14 水								
	15 木								

地域ごとの日程を確認ください

混雑を避けるため、地区ごとに会場を割り当てていますので、各地域ごとに配布される日程表を確認ください。どうしても都合がつかない場合は、市内のどの会場でも申告することができますので、都合のよい会場へお越しください。例年申告期間の後半は大変込み合いますので、早めの申告をお願いします。

なお、申告期間中は担当職員が申告会場へ行っているため、各庁舎窓口での申告はできません。ご協力ください。

また、平日忙しい方のために日曜日の申告相談日も設けています。（左表■の期日）平日に申告ができない方はご利用ください。※ご自分で申告書を記入される方は、郵送または直接窓口への提出も可能です。

■各地域の申告会場	
地域	会場
大曲	大曲中央公民館研修室
神岡	神岡庁舎3階大会議室
西仙北	西仙北庁舎3階大会議室
協和	協和庁舎4階大会議室
南外	南外庁舎2階応接室
中仙	中仙庁舎2階会議室
仙北	仙北就業改善センター1階大集会室
太田	太田文化プラザ1階生活実習室

年末調整が済んだ方でも、医療費控除や年末調整で提出していない控除がある場合、確定申告することで納めた所得税が還付されることがあります。

※申告に行くための交通手段がなく、お困りの方は税務課に相談ください。
※各地域の詳細な日程については、別途配布する「地域版申告相談のお知らせ」をご覧ください。



カレンダーは45人で協力して制作。担当の部分を丁寧に作業する児童

大 みんなが「えがお」になれるもの 大曲養護学校小学部がカレンダーを制作

大曲養護学校小学部の児童が12月8日、市役所を訪れ、栗林市長に手作りのカレンダーを手渡しました。

毎年テーマを設け、カレンダーを制作している同校小学部。今年のテーマは「みんなが「えがお」になれるもの」。学校生活での楽しかった思い出を絵やスタンプ、シールなどで表現しています。作業は1年生から6年生までの45人で分担。数字や色塗り、表紙の絵や文字のデザインなどすべてを児童が考え、一つ一つ丁寧に作りました。

「地域のみなさんが笑顔に、元気になれるように」という願いが込められたカレンダーは、市役所や大曲駅など市内各所に掲示されています。

第 73人が自慢ののどを競う 2回秋田飴売り節全国大会

第2回秋田飴売り節全国大会が11月23日、神岡農村環境改善センターで開かれ、県内外から参加した73人が自慢の歌声を披露しました。

大会は、北檜岡地区の有志でつくる実行委員会（伊藤金夫委員長）が主催。長年親しまれてきた「秋田飴売り節」を広め、次代に継承していこうと、昨年から全国大会として開催しています。

66人が参加した一般の部では伊藤隆志さん＝横手市＝が優勝。7人が参加した年少の部（中学生以下）で高橋愛実香さん＝男鹿市＝が最優秀賞に輝きました。



「昨年は予選落ちだったので優勝できたのが信じられないくらいうれしい」と喜びの声を聞かせてくれた伊藤さん。優勝旗を手に「秋田飴売り節」を披露



1 児童、保護者と生徒で協力して料理

2 色とりどりの具材で花火を表現した「葉・菜・美ピザ」と「ポパイプリン」

大 葉・菜・美ピザとポパイプリンを調理 大曲農業高校「ふれあいすくすくスクール」

大曲農業高校の生徒が児童と交流する料理教室「ふれあいすくすくスクール」が11月20日、同校で行われ、児童とその保護者7組16人が参加しました。

教室では、同校家庭部の生徒が児童にアドバイスしながら、「葉・菜・美ピザ」とハウレンソウを使った「ポパイプリン」を作りました。メニューは同部の生徒が中心となり考案。ピザの生地は、同校で収穫されたあきたこまちを使い、大仙市産のモロヘイヤをペースト状にして練り込んだもので、ピザソースには同校加工部の生徒が作った「大農味噌」を使用。高野豆腐の唐揚げやピーマン、チーズなどの具材を花火のように盛りつけることから「葉・菜・美ピザ」と名付けられました。このピザは昨年の「大曲の花火」当日や同校の学校祭でも販売されています。

「とてもおいしかった。またこのピザを作ってみたい」「野菜は苦手だけどプリンにしたら食べられた」と児童。生徒が考えたメニューはどちらも好評のようでした。



横 小学校から中学校につながる外国語教育 堀小・仙北中の児童生徒が 英語の公開研究授業

横堀小学校の2年生と6年生、仙北中学校の1年生による英語の公開研究授業が11月17日、横堀小学校で行われました。

小・中学校が連携して取り組む外国語教育のモデルとして国立教育政策研究所の研究指定校となっている横堀小学校と仙北中学校。授業には、全国から約250人の教育関係者らが視察に訪れました。

今年度から全国すべての小学校で行われている「外国語活動」の授業。市内の小学校では、歌やゲームなどを通じて英語の音に親しみながら、外国語で思いを伝え合う楽しさを実感してもらえるような授業を行い、本格的にスタートする中学校での英語学習につなげています。

1積極的に授業に参加する横堀小6年生。国際交流員（CIR）のリードで、ジェスチャーを交えながら英語で元気にあいさつ 2外国語指導助手（ALT）と一緒に英語でグループディスカッションする仙北中1年生



1受賞報告に市役所を訪れた大曲中吹奏楽部の生徒(写真中央3人)、HMB花館小マーチングバンドの児童(写真右から3人)と大曲小マーチングバンド部の児童(写真左から3人) 212月10日に大曲体育館で行われた大曲中吹奏楽部の壮行演奏会。97人編成での迫力の演奏

大 マーチングバンド・バトントワーリング全国大会 曲中が2年連続で最優秀賞に、 花館小が金賞、大曲小が銀賞に輝く

第39回マーチングバンド・バトントワーリング全国大会が12月17日・18日の2日間、埼玉県のさいたまスーパーアリーナで行われ、マーチングバンド中学生の部(大編成)で、大曲中学校吹奏楽部(鈴木幸栄顧問・部員95人)が2年連続で全国一の栄光に輝きました。

全国から24団体が出場した中学生の部。大曲中吹奏楽部はショートタイトルを「神籬」とし、古くから自然に宿る神々の存在を信じてきた日本人の信仰心をマーチングで表現。大編成の部で金賞を受賞した4団体の中から最優秀賞に選ばれました。(埼玉県知事賞、フォトクリエイティブ賞を同時受賞)

また、マーチングバンド小学生の部(小編成)でHMB花館小学校マーチングバンド(築地隆顧問・部員40人)が金賞を、同小学生の部(大編成)に出場した大曲小学校マーチングバンド部(高橋猛顧問・部員56人)が銀賞を受賞しました。

歴史と伝統ある3校のマーチングバンド。児童生徒は「全国大会で結果を出せてとてもうれしい」「受賞できたのは応援してくれたみなさんのおかげ」「マーチングは学校の伝統。プレッシャーの中で実力を発揮できてよかった」と喜びの声を聞かせてくれました。



おおきなせなかに お便り広場

12月号・12月号お知らせ版へのお便り

今回寄せられたのは **32** 通

内訳 / 感想 30 意見 2

表

紙の「絆」の文字を見て、広報紙の役割の重要性と命の重みを感じました。青木福子さんの「命は再発行できません」という言葉を何度もかみしめながら読みました。

市民総参加の被災地・被災者支援活動の内容と現状を踏まえて、私自身どれほどのことができたのだろうと再度考えさせられました。と同時に「絆」を紡ぎ続ける必要性も感じました。

(大曲地域 49歳女性)

特

集を読み、ボランティアの方々の大変なご苦労と心に寄り添う支援の数々を改めて知り、胸が熱くなりました。大仙市に住んでいることを誇らしく思います。

(神岡地域 22歳女性)

毎

回隔々まで読んでいます。記事の内容はもちろん、写真もいいですね。特集最後のページの文章と虹の写真を見た途端、泣けてきました。

「花火ときめきネットワーク」には知人が何人かいるので、紹介していただいていたうれしかったです。これからもすてきな広報紙を作ってください。

(大曲地域 53歳女性)

だ

だいせん日和は貴重な情報源です。住民のさまざまな取り組みや頑張りを知ることができ、勇気づけられます。今後も広報担当のみなさんに期待しています。

(中仙地域 56歳男性)

表

紙の文字を見た時、自然と「すごい」の一言が出ました。流れるような優しさと意志の力強さを感じました。

(仙北地域 77歳女性)

文

字が小さいので中年以降の人にとっては見えにくいですが、細かい文字をもう少し大きくしてもらえると助かります。それ以外は彩りも美しく、よく工夫されていると思います。

(中仙地域 53歳女性)

特

集記事全て読みました。記事が詳しく書かれていたので、内容が読み手に十分伝わりました。東日本大震災の記事は未だ大変な思いで見えています。これからも出来るだけ支援していきたいと思えます。

毎号、写真も記事も楽しみにしています。広報担当のみなさん、これからも頑張ってください。

(神岡地域 70歳男性)

保

育所・幼稚園の案内の記事の「へき地」という言葉に違和感があります。保育所の欄に入れて、あえてその言葉を書かない工夫はないのでしょうか。

(大曲地域 男性)

児童家庭課から

「へき地保育所」の欄を設けたのは、高畑、土川両保育園の申し込みに関する案内が「保育所」の表に記載されている保育所ものと大きく異なるため、申し込みを希望する方に対し分かりやすいように区別したものです。次回掲載時には「へき地」の表現を用いずに、なおかつ分かりやすい案内ができるよう努めたいと思います。

広報担当から

だいせん日和では、差別的な表現を用いないことはもちろん、新聞用字用語集などの表記辞典を参考にしながら文章表記につとめています。保育園の「へき地」については差別的な表現ではないこと、法令上の表記であることから使用しました。

しかし、ご指摘のとおり、記事の内容で読者が不快を覚えるようなことはあつてはなりません。今後より一層配慮していきます。

特

集を感慨深く読み、改めて震災被害の甚大さを痛感しました。同時に、人の温かさや強さ、たくましさも再認識しました。2011年の漢字は「絆」でした。復興までの長い道のりを、多くの人の善意の絆を持続しながら物心両面にわたり支援して行くことが大切だと思いました。

(西仙北地域 54歳男性)

青

木福子さんの講演を聴きました。紙を切らずに作る「不切一枚折り」という折り紙の作品は素晴らしいですね。知識や技術がどれほど大切なものか、身に染みて分かります。楽しく生きがいのある再出発をと祈っています。

(大曲地域 66歳女性)

被

災された地域やみなさんのことを思うと本当に心が痛みます。仙台に住む弟から被災地の現状を聞くと「何も残っていない」と信じられない言葉でした。

県内からもボランティアの方々がたくさん出向き、また、佐竹知事ががれきを受け入れることを表明しました。秋田を誇りに思います。全ては「絆」です。

(仙北地域 60歳女性)



ペアーレ大仙のレシピ キッチンスタジオから

フライパンで手軽にできる ローストポーク

材料(4人分)

- 豚ももブロック……400g
(またはロース)
- ハーブソルト 大きじ 1/2
- すりおろしニンニク
- …… 小さじ 1
- サラダ油………少々
- 水………50cc
- 白ワイン………50cc
(または日本酒)
- 《つけだれ》
- しょうゆ……… 100cc
- みりん……… 大きじ 2
- マーマレード… 大きじ 2
- バター………5g

作り方

- ① 豚肉の表面をフォークで数カ所刺し、Aの調味料をすり込み、15分おく。
- ② フライパンに薄く油を敷き、強火で全体に焼き色をつける。
- ③ 弱火にし、水と白ワインを加え、30分程蒸し焼きにする。竹串などを刺し、透明な汁が出たら肉を取り出し、密閉できる袋に入れる。
- ④ つけだれを作る。フライパンに調味料を入れ煮立ったら、火を止めてバターを加える。
- ⑤ 肉の入った袋につけだれを移し漬けておく。荒熱がとれたら好みの厚さに切る。

POINT

- ※ 全面をカリカリに焼くことで型崩れせず、肉汁も閉じ込められジューシーな仕上がりになります
- ※ マーマレードを使うことで肉が柔らかくなり、照り・風味も増します
- ※ ハーブソルトの代わりに塩(小さじ1)とブラックペッパー(少々)を調合してもOK



ペアーレ大仙専属
料理インストラクター

小田島 由佳 さん

「楽しかった、また来たい」という受講生の方々の声が励みになっています。新しい発見や感動が味わえる、ペアーレにしかない料理教室を企画していきたいです。



ペアーレ大仙のキッチンスタジオでは、楽しく学べる各種料理教室を開催しています。

【問い合わせ】 ペアーレ大仙
☎ 0187-63-8600

地 元のお酒をおいしく飲めることで楽しみと元気をもらっています。西仙酒友会のみなさん、これからもおいしいお酒を販売してください。
(西仙北地域 63歳女性)

特 集が最高でした。大仙市の思いと取り組みを詳しく知ることができました。被災地の「福幸」に向けて、早急にがれき処理への協力を表明するべきだと思います。
(大曲地域 68歳女性)

特 集に感動しました。655人のボランティアの精神は、これからの大仙市にとって精神的な支えになると思っています。「絆」の素直な表紙の文字と岩手県大槌町付近で撮影された虹の写真に感激しました。本場に「福幸」してほしいと願っています。
宮城県女川町で被災された青木福子さんの再出発が成功するよう、心から願っています。
(西仙北地域 77歳男性)

表

紙の「絆」の文字に力を感じます。素晴らしい字ですね。東日本大震災の被災地が元のように戻ることを祈っています。

青

木福子さんや被災された方々の笑顔を見られることが何よりもうれしいです。たくさん笑顔の写真が良かったです。

表

紙の「絆」の文字に力を感じます。素晴らしい字ですね。東日本大震災の被災地が元のように戻ることを祈っています。

郵便ポスト



あて先はこちら
〒014-8601 (住所不要)
大仙市企画部総合政策課
手紙・ハガキ、FAX (0187-63-1119) またはEメール (kouhou@city.daisen.akita.jp) で送ってください。なお、Eメールの場合は件名に「お便り広場」と記入ください。

最

近、数ある眼科疾患の中で注目を集めている加齢黄斑変性という疾患があります。

人間は年齢を重ねると体のさまざまな所に病気が出てくることがありますが、この加齢黄斑変性もその一つで、加齢により網膜の中心にある黄斑部に障害が生じ、視野の中央がよく見えない、「中央が歪んで見える」「中央が暗く見える」などの症状を引き起こします。

黄斑というのは、網膜のほぼ中心に位置する部分のことで、網膜の他の部分よりも視機能に優れ、網膜の中で一番大事な部分と言ってもよい所です。

一般に、健常者の視力とは黄斑部における視力のことを指します。加齢黄斑変性では、この黄斑部に障害が及び、重度の視力障害を生じることがある怖い疾患です。

現に、欧米では成人の失明原因の第1位で、日本でも社会の高齢化と生活の欧米化により近年著しく増加し、成人の失明原因の第4位となっています。

加

齢黄斑変性には大きく分けると滲出型と萎縮型という2種類があります。前者の滲出型は脈絡膜（網膜の外側に位置する血管豊富な膜）から異常な血管（脈絡膜新生血管）が網膜に侵入し、網膜が障



大曲仙北医師会

はら眼科
原 宏二 院長

幸町 1-50
☎ 0187-88-8658

害を受ける病気です。異常な血管は大変もろいため、血液の成分がもれて出たり、簡単に出血したりします。

通常、滲出型は萎縮型よりも進行が速く、重度の視力障害を引き起こします。この滲出型の治療は、以前はあまり有効と言える治療法がありませんでしたが、近年は抗血管新生薬による薬物療法や光線力学的療法といった新しい治療法が開発され、視力を維持できる可能性が出てきました。

後者の萎縮型は網膜色素上皮（網膜の一番外側の部分）が徐々に萎縮し、それに伴い網膜が障害を受けて視力が低下していく病気で、残念ながら、この萎縮型には治

療法がありません。ただし、萎縮型から滲出型に移行することもあるため、定期検査は必要です。

加

齢黄斑変性の予防には、禁煙（喫煙者は加齢黄斑変性になる危険性が高いことが分かっています）、抗酸化ビタミンや亜鉛の摂取、紫外線などの光刺激を避けることが良いと言われています。もちろん病気の早期発見も重要です。

セルフチェックとして、50歳を過ぎたらぜひ一度、片目を閉じてみてください。もし、「見ようとする中心が見えない」「中心が歪んで見える」「中心が暗く見える」などの症状があった場合には、加齢黄斑変性の可能性があります。ぜひ眼科を受診してみてください。

～ 50 歳を過ぎたら、
片目を閉じてチェックしてみましょう～

加齢黄斑変性について

Talk about Age-related Macular Degeneration



Medical Chart no. 55

健康の達人

Letter from Omagari-Semboku Medical Association
Master of HEALTHY!

大曲仙北医師会からの便り

大曲仙北医師会ホームページ
パソコンから <http://www.omagari-med.or.jp>
スマートフォンから <http://www.omagari-med.or.jp/i/>
携帯電話から <http://www.omagari-med.or.jp/i/>

健康通信

問い合わせは各健康増進センターへ

健康増進センター

中央(大曲保健センター内/大曲地域)

西部(西仙北庁舎内/神岡・西仙北・協和・南外地域)

東部(中仙庁舎内/中仙・仙北・太田地域)

☎ 0187-62-9301

☎ 0187-62-1015

☎ 0187-75-0476

☎ 0187-56-7211



相談は無料 あなたの悩みをご相談ください いのちの総合相談会

「NPO法人蜘蛛の糸」では、こころの悩み相談に応じる「いのちの総合相談会」を行います。

多重債務や中小企業を経営している方の悩み、家庭・職場の問題などの相談にも応じます。

相談は面談で行い、秘密は厳守されます。相談員は弁護士、司法書士、産業カウンセラー、「秋田こころのネットワーク」メンバーなど、こころの悩み(自殺対策)に長年関わってきた民間団体のメンバーです。安心してご相談ください。

◆期間/1月24日(火)から28日(土)まで

◆時間/午前10時～午後5時

◆会場/大曲交流センター

◆相談料/無料

【問い合わせ・申し込み】

NPO法人蜘蛛の糸

☎018-853-9759



あなたの悩みをご相談ください



予防接種を勧めています 日本脳炎予防接種

日本脳炎の予防接種後に重い病気になった事例があったため、平成17年度から21年度まで日本脳炎の予防接種が差し控えられていました。現在は、新たなワクチンが開発され、通常どおり接種できるようになっています。

◆定期接種対象年齢/【1期初回】【1期追加】生後6カ月以上7歳6カ月未満【2期】9歳以上13歳未満

◆接種回数と標準的な接種時期/

	回数	標準的な接種時期
1期初回	2回	3歳 ※6日から28日の間隔をおいて2回
1期追加	1回	4歳 ※1期初回終了後のおおむね1年後
2期	1回	9歳 ※満9歳以降

◆接種方法/予診票を記入し、市内の予防接種実施医療機関(だいせん日和平成23年10月号33頁または市ホームページ(www.city.daisen.akita.jp)をご覧ください)に電話で予約の上、接種してください。予診票がない場合は母子手帳を持って最寄りの健康増進センターにお越しください。

◆接種料金/無料

【未接種分がある方への特例措置】

平成7年6月1日から19年4月1日までに生まれた方で、1期・2期の予防接種が終了していない方は、20歳の誕生日の前日までの間、無料で接種を受けることができます。母子手帳を確認の上、未接種分を受けてください。

予防を心掛け、感染拡大を防ぎましょう

ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意

ノロウイルスは冬季を中心に発生する、感染性胃腸炎の原因となるウイルスです。感染力が強く、ごく少量のウイルスでも口から体内に入ることによって感染します。

主な症状は吐き気や嘔吐、下痢、発熱で、子どもの場合は1日に数回からひどい時には10回以上、嘔吐する場合があります。

予防のポイント

①こまめな手洗い

トイレ後、調理前、食事の直前に、必ず石けんで30秒を目安に手を洗いましょう。

②食品の十分な加熱

食品は、中心温度85度で1分以上加熱しましょう。

③調理器具などの消毒

まな板、布巾などはよく洗い、熱湯や塩素系漂白剤で消毒しましょう。



時間も丁寧な洗いましょう
爪の間も洗いましょう
指の間も洗いましょう

ノロウイルスに感染したら

症状が出たら、医療機関を受診しましょう。

感染した方の嘔吐物やふん便には大量のウイルスが含まれているため、感染が広がる可能性があります。嘔吐物は、使い捨ての手袋を使い、新聞紙やペーパータオルなどで拭き取った後、薄めた塩素系漂白剤を染み込ませたティッシュペーパーなどで拭き取り消毒してください。汚物が付着した衣類は消毒してから洗濯しましょう。症状が出た方は、最後に入浴するか、シャワーだけにしましょう。

【塩素系漂白剤を薄めた消毒液の作り方】

少し水を入れた500ミリリットルのペットボトルに、家庭用塩素系漂白剤の原液(塩素濃度約5%)をペットボトルのキャップで2分の1杯加え、ボトルいっぱい水をに入れてください。

仙北図書館のおすすめ

おばあちゃんのおせち

野村たかあき／作・絵 (佼成出版社)



おせち料理には、昔から五穀豊穡や子孫繁栄などの願いが込められ、それぞれの家庭の味が引き継がれてきました。

この絵本は、新年を迎える準備の様子や、人と人との繋がり、おせち料理のいわれなど、日本の伝統文化を生き生きと表現した版画とともに伝えています。

お正月にはぜひこの絵本を読んで、家族団らんの時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。



小説・一般向け図書

- あきになったのでまどをあけますよ／荒井良二
- どっこいったん／ジョン・クラッセン
- メイはなんにもこわくない／あべ弘士
- たつたひとつのねがいごと／バーバラ・マクリントック
- とつぴんしゃん上・下／山本一力
- さんぽのき／真珠まりこ
- チェインギャングは忘れない／横関大
- 放蕩記／村山由佳
- ヒア・カムズ・ザ・サン／有川浩
- さぎなみの国／勝山海百合
- 蜜の航跡／帚木蓬生
- あかりの湖畔／青山七恵
- 名のないシシヤ／山田悠介
- 翁OKINA／夢枕獏
- ジェントルマン／山田詠美
- 領土／諏訪哲史
- 負けんとき上・下／玉岡かおる
- 防波堤／今野敏
- 暗闇で踊れ／馳星周

幼児・児童向け図書

- あきになったのでまどをあけますよ／荒井良二
- どっこいったん／ジョン・クラッセン
- メイはなんにもこわくない／あべ弘士
- たつたひとつのねがいごと／バーバラ・マクリントック
- とつぴんしゃん上・下／山本一力
- さんぽのき／真珠まりこ

ブックスタートボランティアを募集

赤ちゃんへの絵本読み聞かせを行うブックスタートボランティアを募集しています。興味のある方は、大曲図書館に連絡ください。



■各図書館イベント／

【おはなし会】

- 仙北 1月14日(土) 午前10時30分～
- 協和 1月21日(土) 午前10時～
- 神岡 1月21日(土) 午前11時～
- 西仙北 1月28日(土) 午前10時～11時

【どんぐり文庫 おはなし会】

- 太田(敬愛館) 1月28日(土) 午前9時30分～11時

■大曲図書館企画展／

「藤井栄次 水彩画 花と風景展Ⅱ～ふるさと季節の彩り～」

期間／1月5日(木)から31日(火)

時間／午前9時～午後7時

■各図書館休館日／【1月】1月4日まで＝年末年始のため全館休館▼30日＝協和▼31日から2月2日まで(資料整理期間)＝西仙北【2月】▼1日＝大曲、神岡、西仙北、南外、太田▼6日＝中仙、仙北▼7日から9日まで(資料整理期間)＝神岡▼22日から24日まで(資料整理期間)＝南外▼27日＝協和

各図書館問い合わせ

0187-62-1012	0187-74-2130
0187-72-2501	0187-69-3334
0187-75-0099	0187-88-1119
018-892-3830	0187-56-7200

1月の市長日程

※日程は変更になる場合があります。

- 4日・水 仕事始めの式
- 5日・木 定例記者会見
大仙市出初式
大仙市体育協会大曲支部「スポーツ賞表彰式並びに新年の集い」
- 6日・金 大曲商工会議所新春賀詞交歓会
- 10日・火 大仙美郷環境事業組合正副管理者会議
大仙市交通指導隊・防犯指導隊観閲式
- 11日・水 大仙市農業委員会新年賀詞交歓会
- 12日・木 市長ヒアリング
(平成24年度当初予算)
- 13日・金 市長ヒアリング
大曲工業高等学校校舎改築期成同盟会総会
- 15日・日 大曲新人音楽祭コンクール本選開会式・表彰式
- 16日・月 市長ヒアリング
秋田県・市町村協働政策会議地域会
- 17日・火 市長ヒアリング
- 18日・水 市長ヒアリング
- 19日・木 市長ヒアリング
- 20日・金 大仙市商工会会員大会
- 23日・月 市長ヒアリング
- 24日・火 予算要望、全国市長会
(東京都・～25日)
- 29日・日 新春歌と踊りのチャリティーショー
- 30日・月 協和地域財産区管理委員との懇談会
- 31日・火 秋田県後期高齢者医療広域連合正副連合長会議

市長交際費

(11月1日～30日)

摘要	件数	金額
慶祝	38	284,800円
協賛	6	25,023円
弔慰	1	10,000円
合計	45	319,823円

※慶祝＝市長等が出席する行事の会費やお祝いなど
 ※協賛＝各種事業協賛金や各種大会市長賞および副賞など
 ※弔慰＝行政委員会の委員等、市政に深く関わりのある方や旧市町村の功労(績)者に対する香典など



「大仙雪まる隊」出動式であいさつをする栗林市長



シリーズ2 離れて暮らす家族も安心

「花子さんと太郎さん、介護保険の認定申請をする」

花 子さん・太郎さん夫妻には、東京で離れて暮らす長男の一郎さんがいます。毎年、正月には必ず帰省する一郎さんですが、今年は家の中の様子がいつもと違うことに気が付きました。居間は散らかったままで、台所には焦がした鍋や汚れた食器が山積みになっていました。

「あれ？おかしいな」と思った一郎さん。太郎さんに話を聞くと、「腰痛がひどくて買い物に行けなくなった」「家の中でもつまずきやすくなった」とのこと。花子さんは「財布の置き場所をよく忘れてしまう」「食事をしたかどうかも定かでない時がある」など、もの忘れがひどくなってきたようでした。

両親の暮らしの様子が心配になった一郎さん。東京に戻る前に、2人を連れて地域包括支援センターに相談に行くことにしました。

相談を受けた地域包括支援センターの職員は、太郎さんには「安全な歩行ができるための支援」、花子さんには「家事伝い等の支援」が必要ではないかとアドバイス。また、認知症の症状が見られる花子さんには、早めに専門の医療機関を受診することを勧めました。

一郎さんにも勧められ、介護保険のサービスを利用することにした花子さんと太郎さん。その場で、2人同時に認定申請をしました。

登場人物紹介



大仙花子さん (75歳)

もの忘れがひどくなってきた花子さん。財布の置き場所をよく忘れてしまいます。



大仙太郎さん (80歳)

花子さんと2人で暮らす太郎さん。腰痛がひどく、買い物に行けなくなってしまいました。



大仙一郎さん (50歳)

東京在住の長男・一郎さん。2人の暮らしの様子が心配になり、地域包括支援センターに相談に行くことにしました。

介護に関する相談から認定申請まで

地域包括支援センターは、高齢者の方々がいつまでも住み慣れた地域で暮らせるように支援する「総合相談窓口」です。介護保険のサービスを利用するための認定申請も受け付けています。

申請書は各地域包括支援センターと各支所市民サービス課の窓口を用意しています。申請の際は、介護保険被保険者証（第2号被保険者は健康保険被保険者証）をお持ちください。

高齢者支援の「総合相談窓口」各地域包括支援センターを利用ください

中央 (大曲庁舎/大曲・四ツ屋・花館地区)

☎ 0187-63-1111 内線 169

東部 (中仙庁舎/中仙・仙北・太田)

☎ 0187-56-7125

西部 (西仙北庁舎/神岡・西仙北・南外)

☎ 0187-87-3970

協和 (社会福祉協議会協和支所/協和)

☎ 018-892-3838

南部 (社会福祉協議会本所/

大曲・内小友・西根・藤木・角間川地区)

☎ 0187-88-8030

介護保険事務所からの
お知らせ

地域密着型サービス事業所に設置

「認知症なんでも相談所」にご相談ください



このステッカーが目印

市内の地域密着型サービス事業所に、自宅で認知症の高齢者を介護する方などの悩みや問題を解決するための手助けをする相談窓口「認知症なんでも相談所」が設置されています。

窓口では、認知症介護の研修を受けた職員が認知症や介護に関する相談に応じます。困った時は、ひとりで抱え込まずに、お近くの相談所に相談ください。

また、相談の内容によっては、地域包括支援センターや福祉事務所、医療機関など適切な機関を紹介し、取り次ぎをするなど支援します。

「認知症なんでも相談所」を設置している事業所については、だいせん日和平成23年4月号お知らせ版5ページをご覧ください。介護保険事務所に問い合わせください。

■平成23年度に新たに指定された

地域密着型サービス事業所

事業所名(事業種別)	所在地・電話番号
おうようかんケアセンター (認知症対応型通所介護)	佐野町3-41 ☎0187-73-7383
元気ハウスきたうら (小規模多機能型居宅介護)	太田町齊内中田201 ☎0187-89-1066
おうようかん「川口の家」 (小規模多機能型居宅介護)	太田町川口清水川139 ☎0187-88-8970

【問い合わせ】

介護保険事務所 ☎0187-86-3910

▶こちらをご利用ください

秋田県認知症コールセンター ☎018-829-2275

(受付時間/午前9時～午後5時)※日曜、祝日、年末年始を除く

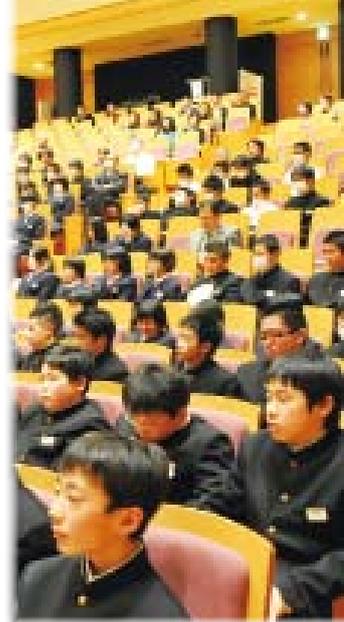
「心の防波堤」



豊成中3年
小松 翔太 さん

暗闇の中、家族そろって過ごした3月11日の夜。翌日、テレビで地震の規模や、変わり果てた街の姿を見た私は言葉を失いました。震災で、多くの街が壊滅的な被害を受け、亡くなった方、行方不明の方の数は2万人を超えました。

みなさんは、災害に強い街とは、どんな街だと思いますか？津波に備え防波堤を作る、高台に家建てる、避難しやすいよう道路の幅を広げる……。しかし、災害を完全に防ぐことはできるのでしようか。津波対策が万全といわれた三陸の街が壊滅的な被害を受けたことが、それは不可能であることを物語っています。そんな中、私は興味深い言葉に出会いました。



「津波でんでんこ」。これは岩手県の釜石に古くから伝わる「津波の時にはバラバラに逃げる」という教えです。この言葉を知った時、「避難訓練では指示に従ってみんなで一緒に避難するけれど、ばらばらに逃げるなんて不安ではないのか？」と思いました。

しかし、「津波でんでんこ」は自分の身は自分で守ることの大切さを教えてくれる言葉です。「もし災害が起きても誰かの真似をして身を守ればいいんだ」という考えを戒めているのだと思います。いざという時のために、周りの様子を見極め、判断し行動できる力を身に付けなければなりません。また、自分だけが助かればいいのか、自分だけが助かればいいのか、弱い人や幼い人に手を差し伸べることができ、助け合いの精神も忘れてはなりません。この2つがどんな災害から自分を守り、身近な人を守る防波堤になると思います。

地球に暮らしている以上、必ず災害は襲ってきます。「津波でんでんこ」の意識を常にもち「心の防波堤」を築きたい。「心の防波堤の輪」で地域を囲めたら、それは何にも勝る備えになると思います。

中学生防火防災弁論大会

私の主張

東日本大震災の体験から学んだこと
災害に備え、私たちがすべきことは――

11月24日、中仙市民会館（ドンパル）で開かれた平成23年度中学生防火防災弁論大会（秋田県消防協会大崎市仙北市美郷町支部主催）。市内7中学校の代表9人が、防火・防災をテーマに発表しました。東日本大震災の体験を基に、防火防災への思いと決意を壇上で語った9人の主張を紹介します。（発表の内容を要約して掲載しています。ご了承ください）

なお、大会の成績は次のとおりです。〈敬称略〉

【最優秀賞】小松翔太（豊成中3年）

【優秀賞】藤田萌依（大曲南中2年）、信田祐季（仙北中3年）

【努力賞】星野翔（中仙中3年）、九嶋朱星（中仙中2年）、熊谷ほのか（豊成中1年）、判田玲奈（大曲西中2年）、瀬田川響（太田中3年）、白土夏菜（大曲中3年）



私の主張

「高めよう 備えの意識」



仙北中3年 信田 祐季さん

東 日本大震災の後、1914年に起きた「秋田仙北地震」について調べました。震源地は旧西仙北町。94人が亡くなり、1200戸以上が倒壊した大地震。津波の心配のない内陸部でも地震は猛威をふるうのだと知りました。災害に備え、常日ごろから「減災

対策」をしておくべきです。学校や家では先生や親の指示で避難することができません。しかし、外出時に突然災害に遭ったらどうでしょうか。電話がつかない場合に備え、家族で連絡方法や集合場所を決めておくことも大切です。防災グッズなど物質的な準備はもちろん、精神的な備えも必要なのです。私たちは、大震災で尊い命を失った方々が残した教訓を決して無駄にはいきけません。「備えあれば憂いなし」。この言葉を常に念頭に、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。

「減災の心」

東 日本大震災で大きな被害をもたらした津波。そんな中、「釜石の奇跡」が起りました。地震発生後、岩手県釜石市の小中学生は、すぐに避難を開始。避難所到着後、自分たちの判断で高台を指し、避難率ほぼ100%、全員無事だったのです。さらに、避難をちゅうちよする家族を説得し、一緒に避難した場面もあったようです。災害を完全に封じることができません。防災に加え、大災害の発生を前提に被害をできるだけ小さくする減災に取り組ましましょう。まずは自分の身は自分で守るこ



中仙中2年 九嶋 朱星さん

と、地域や身近にいる人同士で助け合うこと。これは「釜石の奇跡」の教えそのものです。自分、家族、近所のできることを考え、「できることから今すぐに」「その場にあつた身の安全」「正しい状況判断の」「減災の心」3つをもって、命を大切に生活していきたいでしょう。

「被害を最小限に抑えるために」



大曲南中2年 藤田 萌依さん

数 数ある堤防の脇を走る車が、一瞬で津波に飲み込まれた衝撃的な映像。堤防が津波の姿を隠し、音を消していたという事実を後に知りました。いくら訓練を積み、丈夫な建造物を作っても、人間の五感で異常を察知できなければ行動に移すことはできません。

過去に何度も津波の被害を受けた三陸地方のある地域では「此処より下に家を立てるな」と書かれた石碑が建てられています。多くの地域が堤防に安全を委ねる中、この地域では人間の判断力で被害を最小限に抑えることができたのです。自然の力には、私たち人間がいくら大規模な対策を講じたとしても、完全に打ち勝つことはできません。被害を最小限に抑えるために、常に五感を働かせ、危険を判断し、身を守るための行動をする。この意識こそが防災への大きな一歩ではないでしょうか。

「地域の一員として 私たちにできること」

8 月31日、中仙地域で大規模な防災訓練が行われました。中仙中学校は災害時の避難場所に指定されており、私たち生徒も参加。体育館で避難所の設営作業を体験しました。緊迫した雰囲気の中、中学生にも社会の一員としての働きが求められていることを実感しました。訓練とはいえ、避難してくる地域の高齢の方々は不安な表情でした。「大丈夫ですか」「こちらですよ」。不安を取り除くことができるよう笑顔で声を掛けながら、私たちにもできることがたくさんあるのだと気がきました。



中仙中3年 星野 翔さん

避難する時や避難所で生活する時は、互いを思いやり、協力し合いながら困難を乗り越えなければなりません。いざという時は、「地域の協力」が大切です。自分のやるべきことを見極め、地域を支える力になれるよう、自ら動く心構えを常に持ちたいと思います。

私の主張

「My 避難袋」



豊成中1年
熊谷 ほのかさん

8月31日に中仙地域で行われた総合防災訓練。もしもの時のための手づくりの避難袋の話聞きました。袋に入れるもの一つ一つに工夫があり、市販の避難袋もよいけれど、自分にとって必要な物を改めて考える必要があるなと思いました。そこで、家族一人一人が

必要なものを考えてみました。父の避難袋には、ライト、電池、時計、毛布。母は衛生用品、ライト、ラジオ、水、食用品のラップ。妹は缶詰、袋、くつ。そして私は、水、くつ、カップ麺、携帯用カイロ、ろうそく、マッチ。人任せ、物任せにせず、一人一人が防災への意識を高めることが最悪の事態を防ぎます。私は自分の避難袋の一番上に、あわてない心と人任せにしない心を入れておきます。そして、その避難袋を油断大敵というロープでしっかりと縛り、いつでも持ち出せるようにしておきます。

「あの災害を忘れずに」



大曲西中2年
判田 玲奈さん

3月11日の地震の後、テレビで被災地の惨状を目にし、停電や断水で不便だなと思っていた自分の考えの甘さを痛感しました。自然災害を完全に防ぐことはできません。少しでも被害を少なくするため、ラジオや懐中電灯、飲料水などの備えのほか、家族で

災害時の連絡方法を決め、避難場所を確認しておくなど、備えるべきことはたくさんあります。また、災害時にはみんな支え合うことの大切さも深く感じました。震災から8カ月がたち、気の緩みはないでしょうか。大切な人を亡くした人、まだ先の見えない毎日を過ごしている人、がれきや放射能と戦う人がいることを忘れてはいけません。大災害はしばらく起きないだろうという安易な気持ちが一番恐ろしいのです。あの日のことを忘れない、その強い意志が防災につながる第一歩です。

「大切なものを守るために」

5月、岩手県大船渡市の赤崎波で校舎を失い、他の中学校を借りして授業をしている赤崎中のみなさんは、私たちを温かく迎えてくれました。しかし、笑顔の影にある辛い現実を考えると胸が締め付けられる思いでした。私はこの時、大切なものを一瞬で失ってしまう災害の恐ろしさを実感しました。その後は、避難訓練の時も「命を守る」ことが第一」という意識をしっかりともちようになりました。生徒会ではトイレに非常用の水を準備する取り組みを始めました。家庭



大曲中3年
白土 夏奈さん

でも、防災について話す機会を定期的に作りました。被災地への訪問を通じて、「今の生活はなんて幸せなんだろう」と気付きました。その幸せを守るため、周りの人も巻き込んで防災への意識を高め、できることを実践していきたいと思えます。

「最高の防災グッズとは」

8月、太田中学校が交流している岩手県の大槌中学校を訪問しました。「津波が来た時、どのようにしましたか」と質問すると、「周りの人たちを見て行動するようにしました」と答えてくれました。この答えに、「地域の人同士のつながり」が一番大切なのだと気付きました。地域のつながりがなければみんなバラバラに行動し、一人で逃げ遅れてしまうかもしれません。3月11日の地震の後、停電と断水で困っている時、近所の方が水を分けてくれました。また、太田中では電話が通じない時のための「歩



太田中3年
瀬田川 響さん

く連絡網」ができました。このように、近所がつながっていることで何かあった時も安心です。防災用の商品はたくさんありますが、お金で買うことができない地域の人同士のつながりを忘れてはいけません。みなさんも築いてみませんか、この「最高の防災グッズ」を。

地域情報

仙北 第29回 大仙市仙北新春将棋大会

A級(2段以上)・B級(初段以下)・小学生の部に分かれて対局を行います。

■日時/1月8日(日)午前10時～(午前9時40分受け付け開始)

■会場/仙北ふれあい文化センター

■参加費/1,000円(小学生500円)

※昼食代込み

■申込期限/

【小学生の部】1月5日(木)まで

【A級・B級】当日会場で申し込み

【問い合わせ・申し込み】

大仙市仙北将棋同好会

原さん ☎0187-69-2771

大曲 花館地区合同厄払い

花館小学校を卒業した方、花館地区在住の方を対象に合同年祝い(厄払い)を開催します。

■対象/数え年で男性42歳(昭和46年4月2日～47年4月1日生)、女性33歳(昭和55年4月2日～56年4月1日生)の方で、花館小学校卒業者および花館地区在住の方

■日時/1月28日(土)午前10時～

■会場/伊豆山神社※午前9時15分からゲストハウスフォーシーズンで受け付け

【問い合わせ】

実行委員会事務局 荒屋舗さん

☎090-2609-8608

大曲 小倉百人一首 新春かるた会

小学生、一般(中学生以上)、初心者の3部門でトーナメント戦を行います。

初心者の方も歓迎します。見学もできますのでぜひお越しください。

■日時/1月15日(日)

午前10時～午後3時30分

■会場/はびねす大仙

■参加費/500円(昼食代)

■申込期限/1月8日(日)

【問い合わせ・申し込み】

のびのび百人一首サークル

佐々木さん

☎090-5184-0716

神岡・西仙北・南外の5小学校

閉校記念式典

語る会・感謝する会

来春の学校統合に伴い閉校する神岡、西仙北、南外の5小学校。閉校記念式典とこれまでの歩みを振り返る「語る会」「感謝する会」を行います。

卒業生や地域のみなさん、ぜひお越しください。

南外西小学校

■期日/2月4日(土)

【閉校記念式典】

時間/午前10時～

会場/南外西小学校体育館

【南外西小を語る会】

時間/午後0時30分～

会場/南外コミュニティーセンター

参加費/4,000円

■申込期限/1月16日(月)

【問い合わせ・申し込み】

南外西小学校 ☎0187-74-2520

南檜岡小学校

■期日/2月5日(日)

【閉校記念式典】

時間/午前10時～

会場/南檜岡小学校体育館

【南檜岡小学校を語る会】

時間/午後1時～

会場/大曲プラザたつみ

参加費/5,000円

■申込期限/1月16日(月)

【問い合わせ・申し込み】

南檜岡小学校 ☎0187-73-1800

北神小学校

■期日/2月14日(火)※開校記念日

【閉校記念式典】

時間/午前10時～

会場/北神小学校体育館

【北神小学校に感謝する会】

時間/午後1時～

会場/神岡農村環境改善センター

参加費/4,000円

■申込期限/1月10日(火)

【問い合わせ・申し込み】

北神小学校 ☎0187-72-2224

大沢郷小学校

■期日/2月25日(土)

【閉校記念式典】

時間/午後1時30分～

会場/大沢郷小学校体育館

【大沢郷小学校を語る会】

時間/午後4時30分～

会場/西仙北めぐ森温泉ユメリア

参加費/男性5,000円、女性4,000円

■申込期限/1月20日(金)

【問い合わせ・申し込み】

大沢郷小学校 ☎0187-78-1004

神宮寺小学校

■期日/2月26日(日)

【閉校記念式典】

時間/午前10時～

会場/神宮寺小学校体育館

【神宮寺小学校に感謝する会】

時間/午後0時15分～

会場/神岡農村環境改善センター

参加費/5,000円

■申込期限/1月20日(金)

【問い合わせ・申し込み】

神宮寺小学校 ☎0187-72-2222

福祉の仕事を希望する方へ 第2回福祉の就職総合フェア

福祉職場の人事担当者と福祉職を希望する方々との直接面談の場です。福祉の仕事や資格についての各種相談も行います。申し込みは不要ですので、直接会場にお越しください。

◆対象／現在求職中の方および大学・短大・専門学校等を平成24年3月に卒業予定の方

◆日時／2月8日(水) 午後1時30分～4時30分(時間内の入退室自由)

◆会場／秋田ビューホテル 4階 飛翔の間(秋田市中通2-6-1)

【問い合わせ】

秋田県福祉保健人材・研修センター
☎018-864-2880

あきた環境優良事業所認定制度・ 中小企業等省エネ診断事業説明会

企業・事業所を対象に、環境負荷の簡単な把握方法や環境に配慮した取り組みをサポートする「あきた環境優良事業所認定制度」。省エネの専門家が事業所を訪問し、無料の診断と省エネ対策の提案を行う「秋田県中小企業等省エネ診断事業」。両制度・事業の説明会を行います。

工コで経済的な事業所を目指しませんか。

◆日時／1月12日(木)

午後1時～2時30分

◆会場／仙北地域振興局

【問い合わせ・申し込み】

NPO法人環境あきた県民フォーラム
☎018-839-8309

年金を増やしませんか 秋田県国民年金基金

国民年金基金は、老齢基礎年金の上積み年金として給付を行う、公的な年金制度です。掛け金は全額「社会保険料控除」の対象となり、受け取る年金にも「公的年金等控除」があるなど、税制面でも優遇されています。

【問い合わせ・申し込み】

秋田県国民年金基金
フリーダイヤル ☎0120-65-4192

お知らせ Information

正しい操作で、安全除雪 除雪機による事故に注意

毎年、除雪機による事故が多発しています。除雪機を使う時は、次の点に注意して操作しましょう。○周りに人がいる時に除雪機を使わない。

○雪詰まりを取り除く時はエンジンを止め、必ず雪かき棒を使う。

○作業の時以外はエンジンを止める。

○バックする時は、足元や障害物に気を付ける。

【問い合わせ】

除雪機安全協議会 ☎03-3433-0415

危険箇所には近づかない 水路への転落事故に注意

仙北平野土地改良区管内の水路は冬期間も通水しています。降雪で水路の端が分かりにくくなり、転落事故が発生する恐れがあります。水路の近くでは十分に注意し、危険な箇所には近づかないようにしましょう。

【問い合わせ】

秋田県仙北平野土地改良区
☎0187-62-0180

相談には申し込みが必要です 社会福祉協議会の各種無料相談

【無料法律相談】

日時／1月12日(木)

午前10時～午後3時

申込期限／1月10日(火)

相談員／草薙秀樹さん(弁護士)

【無料 土地・家屋・相続相談】

日時／1月27日(金)

午前10時～午後3時

申込期限／1月25日(水)

相談員／相馬完さん(司法書士)

◆会場／大仙市社会福祉協議会本所

◆定員／各先着8人

※相談時間は1人30分

【問い合わせ・申し込み】

大仙市社会福祉協議会本所
☎0187-63-0277

Invitation 募集

角間川更生園 臨時職員募集

角間川更生園利用者の生活・作業を支援する臨時職員を募集しています。詳細は、ハローワークの求人内容をご覧ください。

◆募集人員／5人

◆雇用期間／4月1日(日)から

平成25年3月31日(日)まで

◆勤務時間／1日7時間

◆賃金／日給5,740円

◆申し込み方法／ハローワークで紹介状を取得後、履歴書と一緒に角間川更生園に提出(郵送可)

◆申込期限／1月31日(火)※必着

【問い合わせ】

角間川更生園 ☎0187-65-3676
〒014-1413 角間川町町頭98

地域の雇用促進のために 仙北地域雇用促進就職面接会

求職中の方と人材を求めている企業の就職面接会を行います。

◆対象／【求職者】現在求職中の方および高校・大学・短大・専門学校等を平成24年3月に卒業予定の方(申し込み不要。当日、履歴書と筆記用具を持参してください)

【企業】現在求人中、または求人を検討している企業(1月24日(火)まで申し込みください)

◆日時／2月2日(木) 午後1時～4時(午後0時30分受け付け開始)

◆会場／大曲交流センター

◆参加費／無料

【問い合わせ・申し込み】

仙北地域振興局地域企画課
☎0187-63-5226



参加は無料。就職面接会に参加しませんか

訂正とおわび

だいせん日和12月号お知らせ版7ページ「市内の12個人、4団体の栄光」で、高具昇太郎さんの住所が小神成となっていますが、正しくは大神成でした。訂正しておわびします。

**リズムに合わせてリフレッシュ
エアロビクス・ラテンエアロ教室**

見学や無料体験もできます。参加希望の方は、直接会場にお越しください。

- ◆日時／毎週月曜日の
午前10時～正午
- ◆会場／はびねす大仙
- ◆参加費／【1コース】1,000円
【2コース】1,500円
- ◆持参するもの／内履き、タオル等
- 【問い合わせ】
真田さん ☎090-4046-0602

**初級者からやさしく学べる
ハングル講座無料体験**

- ◆日時／1月5日(木)午後6時～8時、1月6日(金)午前9時30分～11時30分
- ◆会場／はびねす大仙
- ◆受講料／無料
- 【問い合わせ・申し込み】
はびねす大仙 ☎0187-63-6733

**災害図上訓練を体験
自主防災組織育成指導者研修会**

地域防災に関する講話のほか、災害時のイメージトレーニングをする「災害図上訓練」を行う、秋田県主催の研修会です。

- ◆対象／市内の自主防災組織のリーダーまたは地域防災に関心がある自治会・町内会の会長の方など
- ◆日時／1月18日(水)
午後1時30分～4時30分
- ◆会場／大曲交流センター
- ◆定員／先着50人
- ◆参加費／無料
- ◆申込期限／1月12日(木)
- 【問い合わせ・申し込み】
総合防災課 ☎0187-63-1111 内線288



災害時の危険箇所や避難ルートを検討する「災害図上訓練」

Course 講習

**指導員が基本を丁寧にレクチャー
初心者スキー教室**

- ◆対象／市内の小学生
- ◆日時／1月28日(土)午前9時～午後3時・29日(日)午前9時30分～午後3時
- ◆会場／大曲ファミリースキー場
- ◆定員／先着20人
- ◆参加費／3,000円(スポーツ保険代込)
- 【問い合わせ・申し込み】
大曲スポーツクラブ(大曲体育館内)
☎0187-63-1122

**中国水墨画を源流から学ぶ
中国文墨画講座参加者募集**

- ◆期日／毎月第1・2・4木曜日の午前9時～午後0時30分
- ◆会場／サンクエスト大曲
- ◆受講料／月3,000円(材料費込み)
- 【問い合わせ・申し込み】
中国文墨画協会日本事務局
赤川さん ☎018-829-5859

**大曲技術専門校の
スキルアップセミナー**

- 【多角形屋根の製作実習】
期日／2月2日(木)・3日(金)
- 【測量士補受験対策講習】
期日／2月8日(水)・9日(木)
- 【ホームページ作成講習
(HTML&CSS編)】
期日／2月8日(水)・9日(木)
- 【棒隅・谷木墨付け講習】
期日／2月16日(木)・17日(金)
- 【木工塗装講習】
期日／2月22日(水)・23日(木)
- 【木造建築物組立等作業主任者講習】
期日／2月23日(木)・24日(金)
- ◆対象／会社等に勤務している方
- ◆時間／午前9時～午後5時
- ◆会場／大曲技術専門校
- ◆受講料／無料(別途テキスト代)
- 【問い合わせ・申し込み】
大曲技術専門校民間訓練支援室
☎0187-62-6321

Events イベント

**新春の腕試しをしませんか
太田新春囲碁大会**

- 参加希望の方は当日、直接会場にお越しください。
- ◆日時／1月14日(土)午前10時～(午前9時30分受け付け開始)
- ◆会場／太田公民館
- ◆参加費／1,500円(昼食、記念品代)
- 【問い合わせ】
太田町囲碁同好会 戸嶋さん
☎0187-88-1770

**ふれあいウィンドオーケストラ
Dynamix 演奏会 2012**

- 小学生から大人まで一緒に吹奏楽を楽しんでいるサークル「ダイナミックス」の定期演奏会です。
- ◆日時／1月21日(土)
午後2時開演(午後1時30分開場)
- ◆会場／仙北ふれあい文化センター
- ◆入場料／無料
- 【問い合わせ】
ダイナミックス事務局 柳田さん
(柳田医院内) ☎0187-69-2101

**秋田県民ミュージカル
白瀬中尉物語-南十字星のもとへ-**

- 日本人初の南極探検に挑んだ秋田の偉人・白瀬^{のぶ}の業績を振り返る、ミュージカル「白瀬中尉物語-南十字星のもとへ-」を上演します。
- ◆日時／1月22日(日)
午後1時30分開演(午後1時開場)
- ◆会場／大曲市民会館・大ホール
- ◆チケット料金／
【一般】前売り1,000円(当日1,500円)
【中学・高校生】前売り700円(当日1,000円)
【小学生】前売り500円(当日800円)
- ◆チケット販売／大曲市民会館、白瀬南極探検隊記念館、サークルKサンクスほか
- 【問い合わせ】
白瀬日本南極探検隊100周年記念プロジェクト実行委員会
☎0184-38-4670

1 EVENTS INFO.

1月の子育てイベント情報



未就園の子どもを対象にした、各地域子育て支援センターでのイベントをお知らせします。

地域	日時	開催場所	事業名	申込期限
大曲	12日(木) 10:00～	サンクエスト	みんなであそぼう	10日(火)
	19日(木) 10:00～	サンクエスト	おかあさんとリズムあそび	17日(火)
	26日(木) 10:00～	大曲交流センター	まめまき	24日(火)
神岡	11日(水) 9:30～	すすくだけっこ園	お正月遊びを楽しみましょう	10日(火)
西仙北	12日(木) 10:00～	みつば保育園	保育園の友だちと遊ぼう	なし
	26日(木) 10:00～		作って遊ぼう	なし
中仙	17日(火) 9:30～	なかせんワイワイランド	冬の感染症と予防についての講演会 豆まきごっこ	なし
協和	11日(水) 10:00～	協和保育園	寒さに負けず、元気!	10日(火)
南外	13日(金) 9:30～	南外保育園	みんなで遊ぼう!	12日(木)
	20日(金) 9:30～		作って遊ぼう!(節分)	19日(木)
仙北	11日(水) 9:30～	仙北南保育園	いっしょにあ・そ・ぼ	6日(金)
	18日(水) 9:30～		いっしょにあ・そ・ぼ	13日(金)
	25日(水) 9:30～		作って遊ぼう! 鬼のお面・身体計測	20日(金)
	2月1日(水) 9:30～		まめまき会	1月27日(金)
太田	19日(木) 10:00～	おおた保育園	みんなで遊ぼう	なし

※申し込み状況で、申込期限前に締め切ることがあります。

【問い合わせ・申し込み】 各地域子育て支援センター

大曲 ☎0187-62-5733 協和 ☎018-892-3426

神岡 ☎0187-72-2244 南外 ☎0187-73-1088

西仙北 ☎0187-87-7130 仙北 ☎0187-63-1143

中仙 ☎0187-56-4139 太田 ☎0187-86-9110

「まるこのひろば」1月のイベント案内

日時	子育て支援拠点施設	高齢者生活相談所
19日(木) 10:30～	いっしょに遊ぼう (親子で交流を)	【随時】高齢者と 子育て親子の生活相談
21日(土) 11:00～	「音楽ともちつきの集い」と 「まるこおしゃべりサロン」 (夢を大きくえがきながら)	
30日(月) 10:30～	誕生会 (1月生まれの子)	【随時】高齢者と 子育て親子の生活相談

※体操教室…毎週月曜日(祝日除く)

①午前10時～②午後1時30分～

「みんなで歌おう」の集い…毎月第3土曜日午後1時30分～

【問い合わせ】 まるこのひろば

子育て=☎0187-63-2344 高齢者=☎0187-63-2544

大仙市の行事予定

1月1日(日)～20日(金)

1/1(日) 仙北組合総合病院・整形(大曲) ☎0187-63-2111
 歯さいとう歯科クリニック(仙北市) ☎0187-53-2752
 仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111

2(月) 大曲中通病院(大曲) ☎0187-63-2131
 ながさか歯科診療院(中仙) ☎0187-56-2255
 仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111

3(火) 仙北組合総合病院・外科(大曲) ☎0187-63-2111
 小西歯科医院(美郷町) ☎0187-84-1118
 仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111

4(水) 官庁仕事始め

5(木) 大仙市消防出初式

■【出初式】午後1時～・大曲市民会館第2駐車場ほか
 ■【式典】午後2時～・大曲市民会館大ホール ▶P.11

6(金) 大仙市民席書大会
 ■午前9時～■大曲体育館

7(土)

8(日) 大曲中通病院(大曲) ☎0187-63-2131
 こまい歯科医院(大曲) ☎0187-62-4189
 仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111

9(月) 成人の日
 仙北組合総合病院・整形(大曲) ☎0187-63-2111

10(火) 農業委員会委員選挙人名簿登録申請書の提出期限 ▶P.8

11(水) 大曲都市計画変更案説明会
 ■午後6時～■大曲交流センター ▶P.11

12(木) 子育てママの就職相談(要申し込み)
 ■午後1時～4時■女性センター

13(金)

14(土) 大仙市大曲新人音楽祭コンクール(予選)
 ■正午～・大曲市民会館大ホール・小ホール(無料) ▶P.9

大仙市大曲新人音楽祭コンクール(本選)
 ■正午～・大曲市民会館大ホール(無料) ▶P.9
 15(日) 仙北組合総合病院・外科(大曲) ☎0187-63-2111
 高橋歯科医院(神岡) ☎0187-72-3211
 仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111

16(月) 協和地域行政相談 ■午前9時～正午■船岡分館(共学館)
 太田地域行政相談 ■午前9時～正午■太田庁舎相談室
 大曲地域行政相談 ■午前10時～正午■大曲庁舎市民ホール
 南外地域行政相談 ■午前10時～正午■南外コミュニティセンター
 協和地域行政相談 ■午後1時～4時■協和市民センター(和ピア)

17(火)

18(水) 神岡地域行政相談 ■午前10時～正午■神岡福祉センター
 中仙地域行政相談 ■午後1時30分～3時30分
 ■中仙農村環境改善センター

19(木)

20(金)

☎…休日外科当番医 歯…休日歯科当番医 救…小児救急診療
 10

休日救急医療(仙北組合総合病院内) ※日曜日・祝日・年末年始
 ☎0187-63-2111 ■内科・小児科 ■午前9時～午後3時

広告ページ

第58回

文化財防火デー

地域の宝を、地域で守ろう

昭和24年1月26日に日本最古の壁画「法隆寺金堂の壁画」が焼損しました。そのため、消防庁と文化庁では毎年1月26日を文化財防火デーとし、この日を中心に文化財を災害から守るための文化財防火運動を全国的に展開しています。

市では、文化財防火デーに合わせ、唐松神社と古四王神社の2カ所で防火訓練を行い、文化財保護と防火を呼びかけます。

地域のみなさん、ぜひ参加ください。

※国宝の線刻千手観音等鏡像のある水神社(中仙地域)では3月11日(日)に予定されています。



第20回協和文化財防火デー

日時 / 1月22日(日) 午前10時～

会場 / 唐松神社境内(協和地域境)

【問い合わせ】

協和市民センター(和ピア) ☎ 018-892-3820



協和：唐松神社

第58回古四王神社文化財防火デー

日時 / 1月22日(日) 午前10時30分～

会場 / 古四王神社境内(大曲地域古四王際)

【問い合わせ】

文化財保護課 ☎ 0187-63-8972



大曲：古四王神社

1月22日(日)同日開催。防火訓練にぜひ参加ください

人口と世帯数

※()内は前月比

11/30現在

人口	89,753人	(- 58)
男	42,236人	(- 28)
女	47,517人	(- 30)
世帯数	30,904世帯	(- 2)

人口増減内訳

出生	50人
死亡	124人
転入	107人
転出	91人

- 編集発行 秋田県大仙市企画部総合政策課 ☎ 0187(63)1111(代表)
〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1番1号
- 発行日 毎月2回(1日・16日)
- 印刷 株式会社 松本印刷



大豆油インキを使用しています。

担当者コラム

今日も“だいせん日和”

▼2011年の世相漢字に「絆」が選ばれた。大規模災害の経験などから、新たな絆が生まれ、旧知の絆が深まった一年だった▼後出しジャンケンのようなだが、市民総参加で取り組んだ被災地支援を振り返り、今年の漢字は「これ」と決め、12月号の準備、取材を進めてきた特集。各方面から反響があり担当者としてはうれしいうれしいかぎりだ▼年末にはうれしいニュースも飛び込んできた。大曲中学校がマーチングバンド・バトントワリング全国大会で2年連続の日本一。花館小学校が金賞受賞、そして大曲小学校は3年連続出場で銀賞受賞。どの学校もプレッシャーの中、最高の舞台で最高の演奏演技を披露した。優勝報告会で「妥協せず、仲間を信じ、最高の作品を作り上げた」とのコメントにメンバーの絆の深さを感じた▼2012年は「どんな年になるのか」ではなく、能動的に「○○な年になりたい」と、絆の上に成り立つわれわれの生活について考えてみてはいかがだろうか。(し)